

【研究ノート】

月報を読む(3) :

筑摩書房版現代日本文学全集 月報細目-2

(Browsing Inserted Leaflets (3):
Tables of Contents of those in Chikuma-Shobo Editions of
Modern Japanese Literature Volumes -2)

藤 井 哲* (編)

【明治文学全集】 1965年2月～89年2月 99巻+『別冊[100] 総索引』.
【100明】

※菊判上製函入, 1,300～3,800円+『総索引』11,000円. この「文学を中心とした明治文化全集」(内容見本)の『総索引』は各種索引を収録して便利なのであるが、「総目次」での月報細目が簡素に過ぎ、月報執筆者名も索引化されていないので、本稿に改めて記述することにした。なお筆者は、本体巻と同じ装幀に製本された(奥付の無い)月報の合本を得て、全100冊を参照した。※柳田泉と木村毅の連載記事は『明治文学研究夜話』と『明治文学余話』として共に『リキエスタ』の会から2001年に復刻されている。また99回に及ぶ連載を収録した『明治への視点』も筑摩選書(2013)になっている。

『1 明治開化文学集(一)』1966年1月 ⑫.

秋庭^{あきば}太郎「魯文のことゝも」1-2. 戸板康二「開化期歌舞伎の珍品」3-4. 柳田泉「連載・明治文学研究夜話(12)」5. 小田切進「明治の雑誌8: 以良^{いらつめ}都女」6. 高橋和巳

* 福岡大学名誉教授

- 「明治への視點 12：漱石における政治」7-8. 「編集室より」8.
- 『2 明治開化文學集（二）』 1967年6月 29.
- 花田清輝「浩然の氣」1-2. 興津要「開化期文學年表作成餘話」2-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話（29）」5. 小田切進「明治の雜誌 25：心の花」6&4. 森銚三「明治への視點 29：僅かに三點を得た鷗外——明治文學閑談 4」7-8. 「編集室より」8.
- 『3 明治啓蒙思想集』 1967年1月 24.
- 河野健二かわの「啓蒙思想をはかるモノサシ」1-3. 市井三郎「中村敬宇の内面」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話（24）」5. 小田切進「明治の雜誌 20：文庫」6&8. 本間久雄「明治への視點 24：抱月と須磨子——回想五題 その 4」7-8.
- 『4 成島柳北・服部撫松・栗本鋤雲集』 1969年8月 51.
- 大島隆一「柳北素描」1-2. 瀬沼茂樹じょうん「栗本鋤雲」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話（51）」5. 淺井清「明治の新聞 前史 1：江湖新聞」6. 中村星湖「明治への視點 51：明治文學雜記 1 二葉亭先生，泡鳴氏，孤島氏，宙外氏」7-8.
- 『5 明治政治小説集（一）』 1966年10月 21.
- 木村毅「政治小説の世界」1-3. 中村忠行ただゆき「政治小説と秦末の文壇」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話（21）」5. 小田切進「明治の雜誌 17：文藝俱樂部」6. 本間久雄「明治への視點 21：所謂自然主義時代——回想五題 その 1」7-8.
- 『6 明治政治小説集（二）』 1967年8月 30.
- 越智治雄「政治と文學」の端緒 1-3. 岡保生やすお「南進論とその時代」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話（30）」5. 小田切進「明治の雜誌 26：中央公論（一）」6. 森銚三「明治への視點 30：閑却せられた作家達——明治文學閑談 5」7-8. 「編集室より」8.
- 『7 明治翻譯文學集』 1972年10月 71.
- 前田愛「『花柳春話』の位置」1-3. 高橋邦太郎「秋濤と『椿姫』」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話（15）：『蒲團』のモデル」5&4. 淺井清「明治の新聞 21：朝日新聞（一）」6&4. 松田道雄「明治への視點 71：明治の人間」7-8.
- 『8 福澤論吉集』 1966年3月 14.
- 高橋誠一郎「『福澤論吉を慶應義塾から疎外せよ』」1-3. 伊藤正雄「福澤學びのしをり」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話（14）」5&8. 小田切進「明治の雜誌 10：都の花」6. 中村眞一郎「明治への視點 14：聖者と怪物」7-8.
- 『9 河竹默阿彌集』 1966年7月 18.

- 山本修二「人間萬事金世中」とその原作」1-3. 秋山安三郎「舞臺で見た想い出」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話(18)」5. 小田切進「明治の雜誌14：文學界(一)」6. 高田博厚^{ひろあつ}「明治への視點18：私にとっての明治文學」7-8.
- 『10 三遊亭圓朝集』1965年6月 ⑤.
藤浦富太郎「圓朝の餘技」1-3. 安藤鶴夫「谷中全生庵」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話(5)」4-5. 佐伯彰一「明治への視點5：進化論の衝擊」6-7. 小田切進「明治の雜誌1：明六雜誌」8.
- 『11 福地櫻痴集』1966年6月 ⑦.
小野秀雄「新聞人としての福地櫻痴」1-3. 越智治雄「福地櫻痴研究案内」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話(17)」5. 小田切進「明治の雜誌13：早稲田文學(第一次)」6. 吉田健一「明治への視點17：明治の時代」7-8.
- 『12 大井憲太郎・植木枝盛・馬場辰猪・小野粹集』1973年3月 ⑦.
色川大吉「民衆の思想營爲との關係」1-3. 大原富枝「土佐という風土と彼等」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話(17)：「龍動鬼談」のこと」5. 淺井清「明治の新聞23：毎日新聞(一)」6. 加茂儀一「明治への視點73：明治と敗殘の舊幕臣」7-8. [編集室より] 8. なお、『別巻總索引』(1989年2月)に第12巻への「訂正」冊子(18頁)が挿まれていた.
- 『13 中江兆民集』1967年3月 ⑥.
嘉治隆一^{かじ}「操守ある理想家」1-3. 松永昌三「中江兆民研究案内」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話(26)」5. 小田切進「明治の雜誌22：新聲」6&4. 森銑三「明治への視點26：青年達の愛讀書——明治文學閑談1」7-8. [編集室より] 8.
- 『14 田口鼎軒集』1977年8月 ⑨.
橋川文三「田口卯吉の人種論について」1-3. 杉原四郎「エコノミスト田口卯吉」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話(35)：内村鑑三」5. 松村友視「明治の新聞41：時事新報(一)」6. 山崎朋子「明治への視點91：明治女性の友情——平塚らいてう先生と徳永恕先生と」7-8.
- 『15 矢野龍溪集』1970年11月 ⑥.
矢野幸夫「父龍溪と私」1-3. 前田愛「政治小説研究案内」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話(5)：ダーウィン説のショック」5&4. 淺井清「明治の新聞11：朝野新聞(二)」6. 岡野他家夫^{たけお}「明治への視點61：風刺に富む文壇月旦——明治文學五

題 3」7-8.

『16 坪内逍遙集』 1969 年 2 月 ④6.

坪内士行「逍遙よしあし」1-2. 河竹登志夫「逍遙の演劇的地位」2-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話 (46)」5-6&4. 小田切進「明治の雑誌 42:創作」6. 中村白葉^{はくよう}「明治への視點 46:少年時代の讀書歴 明治の思い出 (一)」7-8.

『17 二葉亭四迷・嵯峨の屋おむろ集』 1971 年 11 月 ⑥7.

安井亮平「ベテルブルグの二葉亭」1-2. 矢崎善吾「父の思い出」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話 (11):百字文と小品文」5&4. 浅井清「明治の新聞 17:自由新聞」6. 島田謹二「明治への視點 67:私の明治小説ことはじめ——明治文學隨想 (三)」7-8.

『18 尾崎紅葉集 (二)』 1965 年 4 月 ③.

塩田良平「紅葉用字法について」1-4. 岡保生^{やすお}「紅葉文學研究入門」3-5. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話 (3)」5-6. 江藤淳「明治への視點 3:明治の様式」6-7. 「編集室より」8.

『19 廣津柳浪集』 1965 年 5 月 ④.

廣津和郎「柳浪について」1-3. 高田瑞穂「日陰のヒューマニズム:柳浪文學案内」3-5. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話 (4)」5-6. 會田雄次「明治への視點 4:明治を思う」6-8.

『20 川上眉山・巖谷小波集』 1968 年 7 月 ③9.

巖谷^{いわや}大四「父の思い出」1-2. 關良一「眉山・文學界・一葉」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話 (39)」5. 小田切進「明治の雑誌 35:早稻田文學 (第二次)」6&4. 荻原井泉水「明治への視點 39:河東碧梧桐 明治, 折り折りの人 4」7-8.

『21 泉鏡花集』 1966 年 9 月 ②0.

寺木^{ていぼく}定芳「思出話 鏡花先生」1-2. 酒井森之介「鏡花の美——ある鏡花文學入門」2-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話 (20)」5. 小田切進「明治の雑誌 16:太陽」6. 永原慶二「明治への視點 20:「土」と「田舎紳士」」7-8.

『22 硯友社文學集』 1969 年 1 月 ④5.

石橋辰雄「父・思案の思ひ出」1-2. 石川雅章「生田葵氏を偲ぶ」2-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話 (45)」5. 小田切進「明治の雑誌 41:屋上庭園」6&8. 服部^{よしか}嘉香「明治への視點 45:戀愛受難の人々 明治末期の文學者・詩歌人 5」7-8.

- 『23 山田美妙・石橋忍月・高瀬文淵集』 1971年8月 66.
岡保生「美妙と紅葉の訣別」1-3. 長谷川泉「『舞姫』論争の虚實」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話(10):陣中文学と『樵蘇』」5. 浅井清「明治の新聞16:繪入自由新聞」6. 島田謹二「明治への視點66:私の明治詩書ことはじめ——明治文學隨想(二)」7-8.
- 『24 内田魯庵集』 1978年3月 93.
木村毅「内田魯庵翁の思出」1-3. 中山榮暁^{ひであき}「一種の魯庵宗——内田魯庵研究案内」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話(37):自然主義滿開」5. 浅井清「明治の新聞43:平民新聞」6. 尾崎秀樹^{ほつき}「明治への視點93:父の目を通して視た明治像(二)」7-8.
- 『25 幸田露伴集』 1968年11月 43.
鹽谷贊^{しおや・さん}「叱られた話」1-2. 瀬沼茂樹「初期の歴史小説から」2-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話(43)」5. 小田切進「明治の雑誌39:スバル(一)」6&8. 服部嘉香「明治への視點43:口語詩から自由詩へ 明治末期の文學者・詩歌人3」7-8.
- 『26 根岸派文學集』 1981年4月 98.
岡保生「根岸派雜感」1-3. 手塚昌行「思軒と鏡花」3-4. [編集室より]4. 木村毅「連載・明治文學餘話(42):眉山と獨歩の死」5. 浅井清「明治の新聞48:眞砂新聞 日刊世界之日本」6. 吉田光邦「明治への視點98:明治の海外旅行記」7-8.
- 『27 森鷗外集』 1965年2月 1.
森類^{るい}「烏」1-4. 長谷川泉「森鷗外文學入門」2-4. 大江健三郎「明治への視點1:恩賜的と恢復的」5-7. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話(1)」8. [編集室より]8.
- 『28 齋藤綠雨集』 1966年2月 13.
森銑三「綠雨醒客」1-3. 猪野謙二「綠雨の悪魔」3-5. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話(13)」5&8. 小田切進「明治の雑誌9:日本人」6. 杉森久英「明治への視點13:明治の偉大」7-8.
- 『29 北村透谷集』 1976年10月 89.
三好行雄「青木と透谷」1-3. 谷澤永一「北村透谷研究案内」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話(33):蘆花の『青蘆集』」5. 小原信^{しん}「明治の新聞39:萬朝報(三)」6. 山室静「明治への視點89:幼少の頃の讀書から」7-8.
- 『30 樋口一葉集』 1972年5月 69.

瀬戸内晴美「一葉と菊坂町」1-3. 野口碩^{せき}「一葉の日記を浄書して」2-4. 木村毅「連載・明治文學餘話(13):内田百鬼園」5&4. 浅井清「明治の新聞19:讀賣新聞(二)」6&4. 島田謹二「明治への視點69:私の文學研究ことはじめ——明治文學隨想(五)」7-8.

『31 上田敏集』 1966年4月 ⑮.

木島平治郎「思い出」1-3. 田部重治「上田敏の思い出」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話(15)」5. 小田切進「明治の雜誌11:新小説」6. 村野四郎「明治への視點15:鷗外の譯詩」7-8.

『32 女學雜誌・文學界集』 1973年9月 ⑰.

野邊^{のへ}地清江「犠牲献身——『女學雜誌』の一考察」1-3. 瀬沼茂樹「『文學界』の諸潮流——その一側面」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話(19):『新日本島』の背景」5. 浅井清「明治の新聞25:改進黨新聞」6&8. 富士川英郎「明治への視點75:明治と敗殘の舊幕臣」7-8.

『33 三宅雪嶺集』 1967年3月 ⑱. 月報の刊記では2月.

中野達彦「孫から見た雪嶺」1-3. 鹿野政直^{かの}「三宅雪嶺研究案内」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話(25)」5&4. 小田切進「明治の雜誌21:めざまし草(月不醉草)」6. 本間久雄「明治への視點25:『早稻田文學』の『推讚の辭』——回想五題 その5」7-8. 「編集室より」8.

『34 徳富蘇峰集』 1974年4月 ⑲.

徳富敬太郎「悲歡百歳——祖母静子のことなど」1-3. 鹿野政直「蘇峰研究案内」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話(22):桂月から蘆花へ」5. 大屋^{ゆきよ}幸世「明治の新聞28:二六新報(一)」6. 相良^{さがら・もりお}守峯「明治への視點78:私の青春時代の明治」7-8. 「編集室より」8.

『35 山路愛山集』 1965年10月 ⑳.

平林^{ひろんど}廣人「愛山と信濃」1-2. 西田^{たけとし}長壽「愛山・華山・蕨村」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話(9)」4-5. 小田切進「明治の雜誌5:我樂多文庫(二)」6&8. 篠田^{はじめ}一士「明治への視點9:ひらかれた文學」7-8.

『36 民友社文學集』 1970年4月 ㉑.

木村毅「民友社=徳富學校」1-3. 中村^{かん}完「民友社研究展望」2-4. 木村毅「連載・明治文學餘話(1):坪内小學讀本」5&8. 浅井清「明治の新聞7:郵便報知新聞(一)」

6. 中村星湖「明治への視點 57: 明治文學雜記 7——「ボバリー夫人」のこと、むすびの言葉」7-8.
- 『37 政教社文學集』 1980年5月 96.
- 前田愛「[江山洵美是吾郷]」1-2. 佐藤能丸^{よしまる}「政教社研究案内」3-4. 「[[91] 明治新聞人文學集] 年譜訂正」4. 木村毅「連載・明治文學餘話 (40): プラグマチズム」5. 淺井清「明治の新聞 46: 都新聞 (二)」6. 朝倉治彦「明治への視點 96: 明治初期の職員録」7-8.
- 『38 岡倉天心集』 1968年2月 33.
- 吉澤忠^{ちゅう}「天心あれこれ」1-2. 淺野晃「天心研究上の最近の収穫」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話 (35)」5. 小田切進「明治の雜誌 31: 藝文」6&4. 生方敏郎^{うぶかた}「明治への視點 35: 野人泡鳴」7-8.
- 『39 内村鑑三集』 1967年12月 34.
- 齋藤宗次郎「内村鑑三先生の思い出——初對面と最後」1-3. 前田護郎^{ごろう}「内村研究のしおり」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話 (34)」5. 小田切進「明治の雜誌 30: 文藝界」6. 生方敏郎^{うぶかた}「明治への視點 34: 若き日の永井荷風」7-8.
- 『40 高山樗牛・齋藤野の人・姉崎嘲風・登張竹風集』 1970年7月 59.
- 久保忠夫「樗牛兄弟雜感」1-3. 登張正實^{とぼり・まさみ}「天地一杯中: 父竹風のこと」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話 (3): 少年文學の誕生」5&8. 淺井清「明治の新聞 9: 東京曙新聞」6. 岡野他家夫^{たけお}「明治への視點 59: 「文壇名所案内」——明治文學五題」1」7-8.
- 『41 鹽井雨江・武島羽衣・大町桂月・久保天隨・笹川臨風・樋口龍峽集』 1971年3月 63.
- 武島達夫「父の思出湧き出ずるまま」1-3. 神田喜一郎「久保天隨先生について」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話 (7): 開戦の初報をきいた日」5&8. 淺井清「明治の新聞 13: 東京日日新聞 (二)」6. 岡野他家夫「明治への視點 63: 西園寺侯と文藝——明治文學五題 5」7-8.
- 『42 徳富蘆花集』 1966年5月 16.
- 矢野鶴子「叔父と私」1-3. 野田宇太郎「徳富蘆花」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話 (16)」5. 小田切進「明治の雜誌 12: しがらみ草紙」6. 中村哲^{あきら}「明治への視點 16: 民友社遺聞」7-8.
- 『43 島村抱月・長谷川天溪・片上天絃・相馬御風集』 1967年11月 33.

- 中村星湖「抱月先生について」1-2. 相馬^{あやこ}文子「晩年の父」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話（33）」5. 小田切進「明治の雑誌 29:明星（二）」6&4. 生方^{うぶかた}敏郎「明治への視點 33: 田山花袋の俳（二）」7-8. [編集室より] 8.
- 〔44 落合直文・上田萬年・芳賀矢一・藤岡作太郎集〕 1968 年 12 月 〔44〕.
熊谷^{くまがい・たけし}武至「「季」の歌の直文」1-2. 藤岡由夫「父作太郎のこと」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話（44）」5. 小田切進「明治の雑誌 40: スバル（二）」6&4. 服部^{よしか}嘉香「明治への視點 44: 直文・鐵幹・子規・茂吉 明治末期の文學者・詩歌人 4」7-8.
- 〔45 木下尚江集〕 1965 年 8 月 〔7〕.
吉屋信子「良人の自白、について」1-2. 稻垣達郎「木下尚江研究案内」2-4. 小田切進「明治の雑誌 3: 女學雜誌」5. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話（7）」6. 山口瞳「明治への視點 7: 偉すぎるおじいさん」7-8. [編集室より] 8.
- 〔46 新島襄・植村正久・清澤滿之・網島梁川集〕 1977 年 10 月 〔92〕.
中村妙子「祖父のこと・父のこと」1-3. 曉^{あけがらす}烏哲夫「鉢と風と——祖父をおもうて」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話（36）: 藤村と瀧廉太郎」5. 松村^{ともみ}友視「明治の新聞 42: 時事新報（二）」6. 尾崎^{ほつき}秀樹「明治への視點 92: 父の眼を通して視た明治像（一）」7-8.
- 〔47 黒岩涙香集〕 1971 年 4 月 〔64〕.
尾崎^{きくろう}秀樹「涙香ファンの熱意」1-2. 黒岩^{きくろう}菊郎「黒岩涙香の思い出」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話（8）: 唱歌の革命」5&4. 浅井清「明治の新聞 14: 假名讀新聞」6. 高木市之助「明治への視點 64: 藤岡作太郎の思い出」7-8.
- 〔48 小泉八雲集〕 1970 年 10 月 〔60〕.
小泉^{とき}時「八雲^{みちか}の身近」1-2. 西崎一郎「若き日の小泉八雲——女性をめぐって」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話（4）: 最初の讀書」5&4. 浅井清「明治の新聞 10: 朝野新聞（一）」6. 岡野他家夫「明治への視點 60: 醜聞に葬られた美妙齋——明治文學五題（二）」7-8.
- 〔49 ベルツ・モース・モラエス・ケーベル・ウォシュバン集〕 1968 年 4 月 〔37〕.
坂田精一「外國人の見た日本: ハリス, オールコック, サトウ」1-3. 花野^{はなの・とみぞう}富藏「市井人モラエス」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話（37）」5. 小田切進「明治の雑誌 33: 文章世界」6. 荻原井泉水「明治への視點 37: 内藤鳴雪 明治, 折り折りの

- 人2」7-8.
- 『50 金子筑水・田中王堂・片山孤村・中澤臨川・魚住折蘆集』 1974年10月 81.
田中未來「父・王堂のこと」1-3. 川副國基「啓蒙的評論家と燃焼的評論家」3-4.
木村毅「連載・明治文學餘話(25):『文章世界』」5. 浅井清「明治の新聞31:國會(二)」6. 田邊尚雄「明治への視點81:美文にあこがれる」7-8.
- 『51 與謝野鐵幹・與謝野晶子集 附明星派文學集』 1968年5月 38.
與謝野光「父母を語る」1-2. 河村政敏「鐵幹と晶子」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話(38)」5. 小田切進「明治の雜誌34:火鞭」6&4. 荻原井泉水「明治への視點38:夏目漱石 明治、折り折りの人3」7-8.
- 『52 石川啄木集』 1970年3月 56.
金子光晴「啄木のことなど」1-2. 昆豊「啄木研究の問題點」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話(56)」5. 浅井清「明治の新聞6:日新眞事誌」6. 中村星湖「明治への視點56:明治文學雜記(六) 正宗氏夫妻, ポブライ夫人, ミレーの畫」7-8.
- 『53 正岡子規集』 1975年4月 83.
金子兜太「『月並調』の説明曖昧な子規」1-3. 桶谷秀昭「寫生の理論, 生死に思想」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話(27):トルストイ」5. 山田博光「明治の新聞33:江湖新聞(二)」6. 土岐善麿「明治への視點83:學生生活と記者生活」7-8.
- 『54 伊藤左千夫・長塚節集』 1977年6月 90.
柴生田稔「左千夫と節」1-3. 米田利昭「左千夫・節研究案内」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話(34):日記文學の面白さ」5. 浅井清「明治の新聞40:いろは新聞」6. 平川祐弘「明治への視點90:明治は甦える」7-8. [編集室より]8.
- 『55 夏目漱石集』 1971年6月 63.
夏目伸六「父漱石と百間さん」1-3. 越智治雄「夏目漱石研究案内」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話(9):小波の「世界お伽噺」」5. 浅井清「明治の新聞15:東京繪入新聞」6&8. 島田謹二「明治への視點65:私の明治文學ことはじめ——明治文學隨想(1)」7-8.
- 『56 高濱虛子・河東碧梧桐集』 1967年5月 28.
星野立子「父の思ひ出」1-2. 河東駿「父とスポーツ」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話(28)」5. 小田切進「明治の雜誌24:ホトトギス」6&4. 森銑三「明治への視點28:「吾輩は猫である」十四點——明治文學閑談3」7-8.

『57 明治俳人集』 1975 年 10 月 86.

池上浩山人こうざんじん「明治の俳人」1-3. 楠本憲吉「明治俳壇の研究案内」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話 (30):倫理書と松本清張」5. 大屋幸世ゆきよ「明治の新聞 36:國民新聞 (三)」6. 石垣綾子「明治への視點 86: 従順だった少女の頃」7-8.

『58 土井晩翠・薄田泣菫・蒲原有明集』 1967 年 4 月 27.

薄田桂「父・泣菫のこと」1-3. 松村緑「有明の逸詩「聞かずや」(新資料紹介)」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話 (27)」5. 小田切進「明治の雑誌 23:新潮」6. 森銑三「明治への視點 27: 點數表中の歌人・詩人——明治文學閑談 2」7-8.

『59 河井醉茗・横瀬夜雨・伊良子清白・三木露風集』 1969 年 9 月 52.

島本久恵「詩の道」1-3. 三木なか「露風のこと」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話 (52)」5&8. 浅井清「明治の新聞 前史 2: 中外新聞」6. 中村星湖「明治への視點 52: 明治文學雜記 (二) 紅葉山人, 逍遙先生, 半峯先生, 玩具屋主人」7-8.

『60 明治詩人集 (一)』 1972 年 12 月 72.

森亮りょう「『新體詩抄』の詩人たち」1-2. 笹淵友一ともいち「『抒情詩』について」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話 (16): 初投書」5. 浅井清「明治の新聞 22: 朝日新聞 (二)」6. 池田彌三郎「明治への視點 72: 明治是非」7-8.

『61 明治詩人集 (二)』 1975 年 8 月 85.

島本久恵「『文庫』の人びと——青春の友情」1-2. 松村緑「明治後期の詩人たち」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話 (29): 獨學の長短」5. 大屋幸世「明治の新聞 35: 國民新聞 (二)」6. 壽岳文章じゅがく・ぶんしやう「明治への視點 85: 土藏の二階で」7-8.

『62 明治漢詩文集』 1983 年 8 月 99.

木下彪ひょう「森槐南と國分青厓——明治の二大漢詩人」1-3. 西田長壽たけとし「西村天囚の第一回訪清」3-4. 「編集室より」4. 木村毅「連載・明治文學餘話 (43): 獨歩・花袋・藤村」5. 浅井清「明治の新聞 49: 東洋自由新聞 東雲新聞」6. 高階秀爾「明治への視點 99: 明治の色」7-8.

『63 佐佐木信綱・金子薫園・尾上柴舟・太田水穂・窪田空穂・若山牧水集』 1967 年 10 月 32.

窪田章一郎「思い出斷片」1-2. 鳥津忠夫「水穂と牧水——明星詩派から自然派へ」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話 (32)」5. 小田切進「明治の雑誌 28: 明星 (一)」6&4. 生方敏郎うぶかた「明治への視點 32: 田山花袋の梯 (一)」7-8.

『64 明治歌人集』 1968年9月 41.

藤田福夫「愚庵と禮嚴——二人の隠遁の心境」1-3. 片桐顯智^{あきのり}「鮎貝槐園のことども」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話(41)」5&4. 小田切進「明治の雑誌37: 新思潮(第一次)」6&4. 服部嘉香^{よしか}「明治への視點41: 逍遙・抱月・御風 明治末期の文學者・詩歌人(1)」7-8.

『65 小杉天外・小栗風葉・後藤宙外集』 1968年10月 42.

岡保生^{やすお}「戀ざめ」の舞臺」1-2. 後藤後次郎「養父宙外のこと」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話(42)」5. 小田切進「明治の雑誌38: アララギ」6&8. 服部嘉香「明治への視點42: 天外・荷風・漱石・敏 明治末期の文學者・詩歌人(2)」7-8.

『66 國木田獨歩集』 1974年8月 80.

笹淵友一「獨歩と透谷」1-3. 平岡敏夫「最近の獨歩研究の一展望」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話(24): 寫生文の認識」5&4. 淺井清「明治の新聞30: 國會(一)」6. さねとう けいしゅう「明治への視點80: 明治後期の小學生」7-8.

『67 田山花袋集』 1968年3月 36.

田山瑞穂「父母のこと」1-3. 榎本隆司^{たかし}「花袋再考: 田山花袋研究案内」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話(36)」5. 小田切進「明治の雑誌32: 藝苑」6&8. 荻原井泉水「明治への視點36: 尾崎紅葉 明治、折り折りの人1」7-8.

『68 徳田秋聲集』 1971年1月 62.

徳田一穂^{かずほ}「明治の秋聲」1-3. 榎本隆司「秋聲と西鶴」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話(6): 日露戦争と文學」5&8. 淺井清「明治の新聞12: 東京日日新聞(一)」6. 岡野他家夫^{たけお}「明治への視點62: 文壇照魔鏡事件——明治文學五題(4)」7-8.

『69 島崎藤村集』 1972年6月 70.

島崎翁助^{おうすけ}「飯倉片町にて」1-2. 三好行雄^{ゆきお}「藤村研究の問題點」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話(14): 田山花袋」5&4. 淺井清「明治の新聞20: 讀賣新聞(三)」6&4. 島田謹二「明治への視點70: わたしの明治文學觀——明治文學隨想(6)」7-8.

『70 眞山青果・近松秋江集』 1973年6月 74.

眞山美保「眞山青果の道」1-3. 和田謹吾「秋江論の問題點」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話(18): 『少年世界』の投書仲間」5. 淺井清「明治の新聞24: 毎日新聞(二)」6. 河盛好藏^{よしぞう}「明治への視點74: 明治と私」7-8.

『71 岩野泡鳴集』 1965年3月 ②.

大月隆仗たかより「泡鳴と私との出会いについて」1-2. 大久保典夫「泡鳴研究案内」3-4.
柳田泉「連載・明治文學研究夜話（2）」5. 村松剛たけし「明治への視點2：忘れられた一つの流れ」6-7. 「編集室より」8.

『72 水野葉舟・中村星湖・三島霜川・上司小劍集』 1969年5月 ④.

尾崎實子みつこ「父葉舟の思い出」1-2. 安部宙之介「小劍先生の茶の間」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話（49）」5. 小田切進「明治の雑誌45：新思潮（第二次）」6&4. 中村白葉はくよう「明治への視點49：一期一會の友 明治の思い出（4）」7-8.

『73 永井荷風集』 1969年12月 ⑤.

堀口大學「師恩の章」1-3. 竹盛天雄てんゆう「「悪玉」的なもの：荷風研究の問題點一つ」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話（54）」5. 山田昭次「明治の新聞4：東京横濱毎日新聞（一）」6. 中村星湖「明治への視點54：明治文學雜記（四）漱石先生、鷗外先生、前田晁君、女記者」7-8.

『74 明治反自然派文學集（一）』 1966年12月 ③.

武者小路實篤「パンの會」1-2. 高田瑞穂「反自然主義と耽美派」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話（23）」5. 小田切進「明治の雑誌19：青年文」6. 本間久雄「明治への視點3[23]：抱月と須磨子——回想五題その3」7-8.

『75 明治反自然派文學集（二）』 1968年8月 ④.

松岡讓「木曜會」と「九日會」1-2. 丸岡明「水上先生的一面」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話（40）」5. 小田切進「明治の雑誌36：趣味」6&8. 荻原井泉水「明治への視點40：高濱虛子 明治折り折りの人（5）」7-8.

『76 初期白樺派文學集』 1973年12月 ⑦.

木下檢二「『白樺』創刊當時の人々」1-3. 匠秀夫たくみ「美術史から見た『白樺』」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話（20）：『中學世界』の投書欄」5. 淺井清「明治の新聞26：繪入朝野新聞」6. 内藤濯あみう「明治への視點76：明治人慕情」7-8. 「編集室より」8.

『77 明治史論集（一）』 1965年9月 ⑧.

おぼま・としえ 小汀利得「大先驅者島田三郎」1-2. 榛葉英治しんげ「「史疑」と村岡素一郎」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話（8）」4-5. 小田切進「明治の雑誌4：我樂多文庫（一）」6. 中村光夫「明治への視點8：明治初年のパリ」6-7.

『78 明治史論集（二）』 1976年8月 ⑧.

- 北山茂夫「ある大學史學生の一断面」1-3. 遠山茂樹「日本史學史上の論争」3-4.
木村毅「連載・明治文學餘話(32):阿部知二の一族」5. 小原信「明治の新聞38:
萬朝報(二)」6. 増谷文雄「明治への視點88:南條文雄のことども」7-8.
- 『79 明治藝術・文學論集』 1975年2月 82.
大久保利謙「明治美學前史」1-3. 小堀桂一郎「『文學』といふ名稱」3-4. 木村毅「連
載・明治文學餘話(26):『文話詩話』」5. 山田博光「明治の新聞32:江湖新聞(一)」
6. 秋元不死男「明治への視點82:子規・自殺・俳句」7-8.
- 『80 明治哲學思想集』 1974年6月 79.
金子武藏「私が會った人々」1-3. 宮川透「明治哲學の位相」3-4. 木村毅「連載・
明治文學餘話(23):『文章世界』の創刊」5. 大屋幸世「明治の新聞29:二六新報(二)」
6. 齋藤勇「明治への視點79:明治文學に親しんだ頃」7-8.
- 『81 明治女流文學集(一)』 1966年8月 10.
湯地孝「明治女流の樞機」1-3. 三宅美代子「花園のことども」3-4. 柳田泉「連載・
明治文學研究夜話(19)」5. 小田切進「明治の雜誌15:文學界(二)」6. 安東次男
「明治への視點19:明治のめきき」7-8.
- 『82 明治女流文學集(二)』 1965年12月 11.
神崎清「美人傳の長谷川時雨」1-3. 生田花世「在りし日の眉(私の思出)」3-4. 小
田切進「明治の雜誌7:國民の友(二)」5. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話(10)」
6. 杉浦明平「明治への視點11:明治維新における主役の交代」7-8.
- 『83 明治社會主義文學集(一)』 1965年7月 6.
荒畑寒村「秀湖と孤劍と啞蟬坊」1-3. 岡野他家夫「『社會主義詩集』のことなど」
3-5. 小田切進「明治の雜誌2:團團珍聞ほか」5. 柳田泉「連載・明治文學研究夜
話(6)」6. 高坂正堯「明治への視點6:明治と私」7-8.
- 『84 明治社會主義文學集(二)』 1965年11月 10.
中野重治「一種の風情:明治の人びと」1-3. 瀬沼茂樹「欠伸・枯川兄弟」3-4. 柳
田泉「連載・明治文學研究夜話(11)」5. 小田切進「明治の雜誌6:國民の友(一)」
6. 荒正人「明治への視點10:立身出世主義」7-8. 「編集室より」8.
- 『85 明治史劇集』 1966年11月 22.
遠藤爲春・ききて戸板康二「明治史劇の思い出」1-4. 柳田泉「連載・明治文學研究
夜話(22)」5. 小田切進「明治の雜誌18:帝國文學」6. 本間久雄「明治への視點

22：自然主義と私——回想五題 その2」7-8.

『86 明治近代劇集』 1969年3月 47.

山田肇「透谷の場合」1-3. 越智治雄「近代戯曲（明治期）研究案内」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話（47）」5&8. 小田切進「明治の雑誌 43：白樺」6&8. 中村白葉「明治への視點 47：新文學への轉換期 明治の思い出（2）」7-8.

『87 明治宗教文學集（一）』 1969年10月 53.

宮坂宥勝^{ゆうしやう}「明治佛教管見」1-2. 松野純孝「親鸞と念佛の論理」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話（53）」5&4. 浅井清「明治の新聞・前史 3：もしほ草」6. 中村星湖「明治への視點 53：明治文學雜記（三）抱月先生、豊隆君、朝顔事件、秋江氏」7-8.

『88 明治宗教文學集（二）』 1975年7月 84.

山谷省吾^{せいご}「大正期のキリスト教界」1-3. 久山康「明治期キリスト教への關心」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話（28）：自然主義へ傾斜」5. 大屋幸世「明治の新聞 34：國民新聞（一）」6. 守隨憲治^{しゆずい}「明治への視點 84：上田萬年 芳賀矢一の兩先生」7-8.

『89 明治歴史文學集（一）』 1976年1月 87.

高木健夫「新聞小説（明治期）における歴史物の位置」1-3. 山崎一類^{かずひで}「歴史文學研究案内」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話（31）：詩への開眼」5. 小原信^{しん}「明治の新聞 37：萬朝報（一）」6. 湯浅芳子「明治への視點 87：私の明治」7-8.

『90 明治歴史文學集（二）』 1972年1月 68.

松島榮一「福本日南の「元祿快擧録」について」1-3. 稻垣史生「鳶魚考證の視點」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話（12）：『文章世界』刊行」5. 浅井清「明治の新聞 18：讀賣新聞（一）」6. 島田謹二「明治への視點 68：私の明治文人ことはじめ——明治文學隨想（4）」7-8.

『91 明治新聞人文學集』 1979年7月 94.

木村毅「明治新聞記者氣質」1-3. 内川芳美^{よしみ}「明治期の新聞讀者層」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話（38）：「近代三十六文豪」」5. 大屋幸世「明治の新聞 44：やまと新聞」6. 稻村徹元^{てつげん}「明治への視點 94：〈明治本〉の周邊」7-8. [編集室より] 8.

『92 明治人物論集』 1970年5月 58.

西田長壽^{たけとし}「石川半山の人物評」1-3. 鶴崎一郎^{うどき}「父の思ひ出」3-4. 木村毅「連載・

- 明治文學餘話(2):郵便箱の歌」5&8. 浅井清「明治の新聞8:郵便報知新聞(二)」6&8. 土屋文明「明治への視點58:私たちの明治から受けたもの」7-8.
- 『93 明治家庭小説集』 1969年6月 50.
菊池健「父幽芳のこと」1-2. 大倉章郎「父の思い出」2-4. [編集室より] 4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話(50)」5. 小田切進「明治の雑誌46:青鞥」6&4. 中村白葉はくよう「明治への視點50:思い出す人々 明治の思い出(5)」7-8.
- 『94 明治紀行文學集』 1974年1月 77.
野田宇太郎「明治の紀行文學」1-3. 申田孫一「黎明を思わせる頃」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話(21):漱石初讀」5. 浅井清「明治の新聞27:日本」6. 福原麟太郎「明治への視點77:明治前半の小學校教師」7-8.
- 『95 明治少年文學集』 1970年2月 55.
濱田廣介ひろすけ「『少年文學』とのへだたり」1-2. 滑川道夫なめかわ「立志少年像と編集者」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話(55)」5&4. 山田昭次「明治の新聞5:東京横濱毎日新聞(二)」6. 中村星湖「明治への視點55:明治文學雜記(5)御風氏,白鳥氏,秋聲氏,春雨氏」7-8.
- 『96 明治記録文學集』 1967年9月 31.
荒畑寒村「谷中村不滅論」1-2. 杉浦明平「明治の記録文學」2-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話(31)」5. 小田切進「明治の雑誌27:中央公論(二)」6&4. 生方敏郎うぶかた「明治への視點31:島崎藤村について」7-8.
- 『97 明治戦争文學集』 1969年4月 48.
櫻井武男「忘父を思う」1-2&4. 松下芳男「水野廣徳氏の思出」3-4. 柳田泉「連載・明治文學研究夜話(48)」5. 小田切進「明治の雑誌44:『三田文學』」6&4. 中村白葉「明治への視點48:東京外語入學のころ 明治の思い出(3)」7-8.
- 『98 明治文學回顧録集(一)』 1980年3月 95.
佐伯彰一「淫スレバ通ズ:わが回想愛」1-3. 槌田満文「明治人の生活空間」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話(39):脱走」5. 浅井清「明治の新聞45:都新聞(一)」6. 紀田順一郎「明治への視點95:政治小説の位相」7-8. [編集室より] 8.
- 『99 明治文學回顧録集(二)』 1980年8月 97.
杉浦明平「明治人の典型」1-3. 槌田満文「明治人の生活時間」3-4. 木村毅「連載・明治文學餘話(41):トルストイの復活」5. 浅井清「明治の新聞47:東京新聞」6.

芳賀徹「明治への視點 97：戯作の修辭學——源内・論吉・漱石」7-8.

『別卷 [100] 總索引』 1989 年 2 月 ⑩:冒頭に『總索引』の編集を終えて——、とある。
紅野敏郎「『總索引』＝『創造』の營み」1-2. 石崎等「異表記の多様性を追って」2.
石松盈美「有名なりニヤス・キュビエー」3. 大屋幸世「犀川」3-4. 佐藤房儀「文
藝用語から見た明治」4-5. 關口安義「『明治文學全集』と聖書」5-6. 中島國彦「カー
ド一枚の廣がり」6-7. 山崎一穎「時代を読むメルクマール」7. 竹盛天雄「索引編
集始末」7-8. 「編集室より」8.

【定本限定版 現代日本文學全集】 1967 年 11 月 97 卷 + 別卷 3.

【100 全】

※ 【99 全】(1953～59) が完結した 8 年半後に筑摩書房は、月報の⑩が本体
卷次順に振り直された『別卷 3 月報合本』を添えて、【定本限定版 現代日本文
學全集】すなわち【100 全】として一括再版した。菊判上製函入の仕様は【99 全】
と同じで、セット価格が 80,000 円であった。月報の細目は【99 全】で記述し
た通りなので、ここでは【99 全】における初刊年月、新たな⑩、記事の異動、
↔/⇒等を記述する。

- 『1 坪内逍遙・二葉亭四迷集』 1956 年 8 月 ① [合本 pp. 1-10]. ……………
……………↔ 【99 全 1】 54. ⇒ 【143 全 1】 ①.
- 『2 福澤諭吉・内村鑑三・岡倉天心集』 1958 年 8 月 ② [11-20]. ……………
……………↔ 【99 全 51】 95. ⇒ 【143 全 2】 ②.
- 『3 中江兆民・大杉榮・河上肇集』 1957 年 4 月 ③ [21-30]. ……………
……………↔ 【99 全 52】 66. ⇒ 【143 全 3】 ③.
- 『4 尾崎紅葉・山田美妙・廣津柳浪・川上眉山集』 1954 年 7 月 ④ [31-39]. ……………
……………↔ 【99 全 2】 14. ⇒ 【143 全 4】 ④.
吉田精一(編)「研究書目・參考文獻」9 [←【99 全 18】].
- 『5 齋藤綠雨・内田魯庵・木下尚江・上司小劍集』 1957 年 10 月 ⑤ [41-50]. ……………
……………↔ 【99 全 53】 75. ⇒ 【143 全 5】 ⑤.

- 『6 小杉天外・小栗風葉・岡本綺堂・眞山青果集』 1957年6月 ⑥ [51-60]. ……………
…………… ⇨ 【99全56】 69. ⇨ 【143全6】 ⑥.
岡保生「小栗風葉年譜 補正」10 [←【99全65】].
- 『7 幸田露伴集』 1954年5月 ⑦ [61-69]. …… ⇨ 【99全3】 11. ⇨ 【143全7】 ⑦.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」9 [←【99全47】].
- 『8 北村透谷・樋口一葉集』 1956年10月 ⑧ [71-80]. ……………
…………… ⇨ 【99全4】 57. ⇨ 【143全8】 ⑧.
- 『9 泉鏡花・徳富蘆花集』 1955年3月 ⑨ [81-88]. … ⇨ 【99全5】 28. ⇨ 【143全9】 ⑨.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」8 [←【99全5】].
- 『10 泉鏡花・徳富蘆花集 (二)』 1957年2月 ⑩ [89-96]. ……………
…………… ⇨ 【99全54】 62. ⇨ 【143全10】 ⑩.
- 『11 正岡子規・伊藤左千夫・長塚節集』 1955年6月 ⑪ [97-105]. ……………
…………… ⇨ 【99全6】 32. ⇨ 【143全11】 ⑪.
- 『12 森鷗外集』 1953年11月 ⑫ [107-114]. …… ⇨ 【99全7】 ③. ⇨ 【143全12】 ⑫.
- 『13 森鷗外集 (二)』 1956年10月 ⑬ [115-123]. … ⇨ 【99全55】 56. ⇨ 【143全13】 ⑬.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」9 [←【99全49】].
- 『14 國木田獨歩集』 1956年6月 ⑭ [125-134]. … ⇨ 【99全57】 50. ⇨ 【143全14】 ⑭.
- 『15 土井晩翠・薄田泣菫・上田敏・蒲原有明集』 1957年8月 ⑮ [135-144]. ……………
…………… ⇨ 【99全58】 72. ⇨ 【143全15】 ⑮.
- 『16 高山樗牛・島村抱月・片上伸・生田長江集』 1958年6月 ⑯ [145-154]. ……………
…………… ⇨ 【99全59】 92. ⇨ 【143全16】 ⑯.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」8-9. 「落穂集」10.
- 『17 島崎藤村集』 1953年8月 ⑰ [155-162]. …… ⇨ 【99全8】 ①. ⇨ 【143全17】 ⑰.
- 『18 島崎藤村集 (二)』 1957年12月 ⑱ [163-170]. … ⇨ 【99全60】 79. ⇨ 【143全18】 ⑱.
- 『19 島崎藤村集 (三)』 1957年5月 ⑲ [171-179]. … ⇨ 【99全61】 68. ⇨ 【143全19】 ⑲.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」9 [←【99全35】].
- 『20 田山花袋集』 1955年5月 ⑳ [181-188]. …… ⇨ 【99全9】 30. ⇨ 【143全20】 ㉔.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」8.
- 『21 田山花袋集 (二)』 1958年5月 ㉑ [189-196]. … ⇨ 【99全62】 90. ⇨ 【143全21】 ㉑.
- 『22 徳田秋聲集』 1955年2月 ㉒ [197-204]. …… ⇨ 【99全10】 26. ⇨ 【143全22】 ㉒.

- 『23 徳田秋聲集 (二)』 1957 年 11 月 23 [205-214]. …←【99 全 63】78. ⇨【143 全 23】23.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」9 [←【99 全 10】]. 岩城之徳「啄木^{ゆきのり}の年譜について」10.
- 『24 夏目漱石集』 1954 年 12 月 24 [215-222]. …←【99 全 11】22. ⇨【143 全 24】24.
- 『25 夏目漱石集 (二)』 1956 年 5 月 25 [223-230]. …←【99 全 64】49. ⇨【143 全 25】25.
- 『26 夏目漱石集 (三)』 1958 年 4 月 26 [231-238]. …←【99 全 65】88. ⇨【143 全 26】26.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」7 [←【99 全 11】]. 「落穂集」8.
- 『27 高濱虚子集』 1957 年 1 月 27 [239-248]. …←【99 全 66】61. ⇨【143 全 27】27.
- 『28 柳田國男集』 1955 年 1 月 28 [249-256]. …←【99 全 12】24. ⇨【143 全 28】28.
- 『29 岩野泡鳴・近松秋江集』 1954 年 10 月 29 [257-264]. ……………
…………… ⇨【99 全 13】19. ⇨【143 全 29】29.
- 『30 正宗白鳥集』 1955 年 9 月 30 [265-272]. …←【99 全 14】37. ⇨【143 全 30】30.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」8.
- 『31 正宗白鳥集 (二)』 1957 年 9 月 31 [273-280]. …←【99 全 67】73. ⇨【143 全 31】31.
- 『32 與謝野寛・與謝野晶子・石川啄木・北原白秋集』 1954 年 11 月 32 [281-292]. ……
…………… ⇨【99 全 15】20. ⇨【143 全 32】32.
- 『33 若山牧水・島木赤彦・中村憲吉・木下利玄集』 1958 年 6 月 33 [293-304]. ……
…………… ⇨【99 全 69】91. ⇨【143 全 33】33.
- 『34 永井荷風集』 1956 年 1 月 34 [305-312]. …←【99 全 16】43. ⇨【143 全 34】34.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」8.
- 『35 永井荷風集 (二)』 1958 年 1 月 35 [313-320]. …←【99 全 68】81. ⇨【143 全 35】35.
- 『36 小山内薫・木下空太郎・吉井勇集』 1956 年 4 月 36 [321-330]. ……………
…………… ⇨【99 全 17】47. ⇨【143 全 36】36.
- 『37 田村俊子・武林無想庵・小川未明・坪田譲治集』 1957 年 2 月 37 [331-340]. ……
…………… ⇨【99 全 70】63. ⇨【143 全 37】37.
- 『38 谷崎潤一郎集』 1956 年 9 月 38 [341-348]. …←【99 全 18】18. ⇨【143 全 38】38.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」8.
- 『39 谷崎潤一郎集 (二)』 1956 年 4 月 39 [349-356]. ……………
…………… ⇨【99 全 71】48. ⇨【143 全 39】39.
- 『40 武者小路實篤集』 1955 年 5 月 40 [357-364]. …←【99 全 19】31. ⇨【143 全 40】40.

- 吉田精一(編)「研究書目・参考文献」8.
- 〔41 武者小路實篤集(二)〕 1957年3月 41 [365-372]. ……………
…………… ⇨ 【99全72】 64. ⇨ 【143全41】 41.
- 〔42 志賀直哉集〕 1954年6月 42 [373-381]. …… ⇨ 【99全20】 13. ⇨ 【143全42】 42.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」9 [←【99全13】].
- 〔43 有島武郎集〕 1954年4月 43 [383-391]. …… ⇨ 【99全21】 10. ⇨ 【143全43】 43.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」9 [←【99全11】].
- 〔44 寺田寅彦・森田草平・鈴木三重吉集〕 1955年7月 44 [393-400]. ……………
…………… ⇨ 【99全22】 34. ⇨ 【143全44】 44.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」8.
- 〔45 野口米次郎・三木露風・千家元麿・日夏耿之介集〕 1956年12月 45 [401-410]. ……
…………… ⇨ 【99全73】 59. ⇨ 【143全45】 45.
- 〔46 阿部次郎・倉田百三集〕 1956年8月 46 [411-420]. ……………
…………… ⇨ 【99全74】 53. ⇨ 【143全46】 46.
- 〔47 中勘助・内田百閒集〕 1956年6月 47 [421-430]. ……………
…………… ⇨ 【99全75】 51. ⇨ 【143全47】 47.
- 〔48 齋藤茂吉集〕 1953年12月 48 [431-439]. …… ⇨ 【99全23】 4. ⇨ 【143全48】 48.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」9 [←【99全18】].
- 〔49 高村光太郎・萩原朔太郎・宮澤賢治集〕 1954年7月 49 [441-450]. ……………
…………… ⇨ 【99全24】 15. ⇨ 【143全49】 49.
- 〔50 釋迢空集〕 1958年4月 50 [451-460]. …… ⇨ 【99全76】 87. ⇨ 【143全50】 50.
- 〔51 里見淳・久米正雄集〕 1956年3月 51 [461-468]. ……………
…………… ⇨ 【99全25】 46. ⇨ 【143全51】 51.
- 〔52 芥川龍之介集〕 1953年10月 52 [469-477]. …… ⇨ 【99全26】 2. ⇨ 【143全52】 52.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」9 [←【99全35】].
- 〔53 菊池寛・室生犀星集〕 1955年8月 53. [479-486]. ……………
…………… ⇨ 【99全27】 35. ⇨ 【143全53】 53.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」8.
- 〔54 前田河廣一郎・藤森成吉・徳永直・村山知義集〕 1957年7月 54 [487-496]. ……
…………… ⇨ 【99全77】 70. ⇨ 【143全54】 54.

- 『55 平林初之輔・青野季吉・藏原惟人・中野重治集』 1957年11月 55 [497-506]. ……
 …… ⇐ 【99全78】 77. ⇨ 【143全55】 55.
- 『56 長與善郎・野上彌生子集』 1955年10月 56 [507-514]. ……
 …… ⇐ 【99全28】 38. ⇨ 【143全56】 56.
 吉田精一(編)「研究書目・參考文獻」8.
- 『57 水上瀧太郎・久保田万太郎集』 1956年2月 57 [515-522]. ……
 …… ⇐ 【99全29】 44. ⇨ 【143全57】 57.
 吉田精一(編)「研究書目・參考文獻」8.
- 『58 佐藤春夫集』 1954年1月 58 [523-531]. …… ⇐ 【99全30】 6. ⇨ 【143全58】 58.
 吉田精一(編)「研究書目・參考文獻」9 [←【99全12】].
- 『59 山本有三集』 1954年3月 59 [533-541]. …… ⇐ 【99全31】 9. ⇨ 【143全59】 59.
 吉田精一(編)「研究書目・參考文獻」9 [←【99全11】].
- 『60 廣津和郎・宇野浩二集』 1955年12月 60 [543-550]. ……
 …… ⇐ 【99全32】 41. ⇨ 【143全60】 60.
 吉田精一(編)「研究書目・參考文獻」8.
- 『61 豊島與志雄・岸田國士集』 1955年3月 61 [551-558]. ……
 …… ⇐ 【99全33】 27. ⇨ 【143全61】 61.
 吉田精一(編)「研究書目・參考文獻」8.
- 『62 加能作次郎・葛西善藏・牧野信一・嘉村磯多集』 1955年9月 62 [559-566]. ……
 …… ⇐ 【99全34】 36. ⇨ 【143全62】 62.
 吉田精一(編)「研究書目・參考文獻」8.
- 『63 十一谷義三郎・田畑修一郎・北條民雄・中島敦集』 1956年7月 63 [567-574]. ……
 …… ⇐ 【99全79】 52. ⇨ 【143全63】 63.
 吉田精一(編)「研究書目・參考文獻」8.
- 『64 宮本百合子集』 1954年8月 64 [575-584]. …… ⇐ 【99全35】 16. ⇨ 【143全64】 64.
 大田洋子「青い眼と古めかしい着物」6-8. 「編集後記」8. 吉田精一(編)「研究書目・
 參考文獻」9. 「讀者寄稿」10.
- 『65 横光利一集』 1954年3月 65 [585-593]. …… ⇐ 【99全36】 8. ⇨ 【143全65】 65.
 吉田精一(編)「研究書目・參考文獻」9 [←【99全47】].
- 『66 川端康成集』 1955年11月 66 [595-602]. …… ⇐ 【99全37】 39. ⇨ 【143全66】 66.

- 吉田精一(編)「研究書目・参考文献」8.
『67 葉山嘉樹・小林多喜二・中野重治集』 1954年12月 67 [603-610]. ……………
…………… ⇐ 【99全38】23. ⇨ 【143全67】67.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」8.
『68 平林たい子・佐多稲子・網野菊・壺井榮集』 1955年2月 68 [611-618]. ……………
…………… ⇐ 【99全39】25. ⇨ 【143全68】68.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」8.
『69 瀧井孝作・尾崎一雄・外村繁・上林暁集』 1955年12月 69 [619-626]. ……………
…………… ⇐ 【99全40】42. ⇨ 【143全69】69.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」8.
『70 井伏鱒二集』 1953年12月 70 [627-635]. … ⇐ 【99全41】5. ⇨ 【143全70】70.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」9 [←【99全15】].
『71 小林秀雄集』 1956年2月 71 [637-644]. … ⇐ 【99全42】45. ⇨ 【143全71】71.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」8.
『72 梶井基次郎・三好達治・堀辰雄集』 1954年5月 72 [645-653]. ……………
…………… ⇐ 【99全43】12. ⇨ 【143全72】72.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」9 [←【99全38】].
『73 阿部知二・伊藤整・中山義秀集』 1955年7月 73 [655-662]. ……………
…………… ⇐ 【99全44】33. ⇨ 【143全73】73.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」8.
『74 岡本かの子・林芙美子・宇野千代集』 1954年2月 74 [663-671]. ……………
…………… ⇐ 【99全45】7. ⇨ 【143全74】74.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」9 [←【99全12】].
『75 武田麟太郎・島木健作・高見順集』 1955年4月 75 [673-680]. ……………
…………… ⇐ 【99全46】29. ⇨ 【143全75】75.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」8.
『76 丹羽文雄・舟橋聖一集』 1954年11月 76 [681-688]. ……………
…………… ⇐ 【99全47】21. ⇨ 【143全76】76.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」8.
『77 尾崎士郎・石川達三・火野葦平集』 1955年11月 77 [689-696]. ……………

- ⇐ 【99 全 48】 40. ⇨ 【143 全 77】 77.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」8.
- 〔78 石川淳・坂口安吾・太宰治集〕 1954 年 9 月 78 [697-706].
..... ⇐ 【99 全 49】 17. ⇨ 【143 全 78】 78.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」9. 「讀者寄稿」10.
- 〔79 眞船豊・久保榮・三好十郎・木下順二集〕 1956 年 9 月 79 [707-714].
..... ⇐ 【99 全 50】 55. ⇨ 【143 全 79】 79.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」8.
- 〔80 大佛次郎・石坂洋次郎集〕 1956 年 11 月 80 [715-722].
..... ⇐ 【99 全 80】 58. ⇨ 【143 全 80】 80.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」8.
- 〔81 永井龍男・井上友一郎・織田作之助・井上靖集〕 1956 年 12 月 81 [723-732].
..... ⇐ 【99 全 81】 60. ⇨ 【143 全 81】 81.
- 〔82 椎名麟三・野間宏・梅崎春生集〕 1958 年 2 月 82 [733-742].
..... ⇐ 【99 全 82】 84. ⇨ 【143 全 82】 82.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」8-9. 「落穂集」10.
- 〔83 大岡昇平・田宮虎彦・武田泰淳・三島由紀夫集〕 1958 年 7 月 83 [743-750].
..... ⇐ 【99 全 83】 94. ⇨ 【143 全 83】 83.
湯淺芳子「ある對話」5-7. 吉田精一(編)「研究書目・参考文献」8.
- 〔84 明治小説集〕 1957 年 7 月 84 [751-762]. ⇐ 【99 全 84】 71. ⇨ 【143 全 84】 84.
青野季吉・白井吉見・吉田精一「座談會 明治の小説」1-11. 吉田精一(編)「研究書目・
参考文献」12.
- 〔85 大正小説集〕 1957 年 12 月 85 [763-772]. ... ⇐ 【99 全 85】 80. ⇨ 【143 全 85】 85.
- 〔86 昭和小説集 (一)〕 1957 年 5 月 86 [773-784]. ... ⇐ 【99 全 86】 67. ⇨ 【143 全 86】 86.
- 〔87 昭和小説集 (二)〕 1958 年 3 月 87 [785-792]. ... ⇐ 【99 全 87】 86. ⇨ 【143 全 87】 87.
【99 全 87】 には添付されていた吉田精一(編)「研究書目・参考文献」の丁を欠く.
- 〔88 昭和小説集 (三)〕 1958 年 8 月 88 [793-804]. ... ⇐ 【99 全 88】 96. ⇨ 【143 全 88】 88.
白井吉見・山本健吉・平野謙「座談會 戦前戦後の文學を語る」1-11. 吉田精一(編)「研
究書目・参考文献」12.
- 〔89 現代詩集〕 1958 年 2 月 89 [805-820]. ⇐ 【99 全 89】 83. ⇨ 【143 全 89】 89.

- 『90 現代短歌集』 1957年9月 90 [821-836]. …… ⇐ 【99全90】 74. ⇒ 【143全90】 90.
土岐善麿・岡山巖・木俣修・近藤芳美「座談會 現代短歌のあゆみ」1-14. 吉田精一
(編)「研究書目・参考文献」15-16.
- 『91 現代俳句集』 1957年4月 91 [837-852]. …… ⇐ 【99全91】 65. ⇒ 【143全91】 91.
石田波郷・大野林火・神田秀夫・西東三鬼^{さいとう}・山本健吉「座談會 昭和俳句を語る」
1-13. 「落穂集」8&12. 「編集後記」13. 吉田精一(編)「研究書目・参考文献」14-
15. 「讀者寄稿」16.
- 『92 現代戯曲集』 1958年1月 92 [853-868]. …… ⇐ 【99全92】 82. ⇒ 【143全92】 92.
- 『93 現代譯詩集』 1957年10月 93 [869-880]. …… ⇐ 【99全93】 76. ⇒ 【143全93】 93.
矢野峰人・三好達治・河盛好藏・安藤一郎「座談會 十二の名譯詩集」1-11. 「編集
後記」11. 吉田精一(編)「研究書目・参考文献」12.
- 『94 現代文藝評論集』 1958年3月 94 [881-896]. …… ⇐ 【99全94】 85. ⇒ 【143全94】 94.
- 『95 現代文藝評論集(二)』 1958年7月 95 [897-908]. ……
…………… ⇐ 【99全95】 93. ⇒ 【143全95】 95.
中島健藏・伊藤整・臼井吉見「座談會 昭和の文藝評論家たち」1-11. 吉田精一(編)「研
究書目・参考文献」12.
- 『96 現代文藝評論集(三)』 1958年5月 96 [909-920]. ……
…………… ⇐ 【99全96】 89. ⇒ 【143全96】 96.
- 『97 文學的回想集』 1958年9月 97 [921-932]. …… ⇐ 【99全97】 97. ⇒ 【143全97】 97.
本間久雄・成瀬正勝・塩田良平「座談會 明治文壇の人々」1-11. 「編集後記」11.
吉田精一(編)「研究書目・参考文献」12.
- 『別巻1 現代日本文学史』 1959年4月 98 [933-944]. ……
…………… ⇐ 【99全別1】 98. ⇒ 【143全98】 98.
「現代日本文学年表正誤表」を欠く.
- 『別巻2 現代日本文学年表』 吉田精一著 1967年11月 月報なし. ……
…………… 1965年6月刊の改訂増補版(単行本)を転用.
- 『別巻3 月報合本』 1967年11月 月報なし. …… 1967年の【100全】に加え
られた第100巻目のこと. そしてこの合本は【143全】の第100巻にも転用された.

【現代日本文学大系】

1968年8月～73年9月 97巻+『別冊 現代文学風土記』。

【98系】

※菊判上製函入，720～920円。【99全】(1953～59)や【100全】(1967)とは別編成で484作家から2,300篇を集めた新版。「理想とする編集が実現」されたと発案者臼井吉見が悦んだらしい。新漢字で本文を組むことを基本方針として、累計で476万冊を売り上げた。月報も新稿に改められたが合本は制作されなかったようである。この【98系】が筑摩書房による一連の現代文学全集における決定版と目されており、現在でも筑摩書房のホームページ上に全97巻582,000円+税とある。それで、集英社の雑誌『kotoba20』(2015年夏, pp. 48-51)に紹介されていたのもこの新版である。

『1 政治小説・坪内逍遙・二葉亭四迷集』 1971年2月 ④④。

越智治雄「政治小説家の作話力」1-3. 野村喬「春の屋大人と逍遙博士」3-4. 進藤純孝「二葉亭の文学嫌い」4-5&8. 谷沢永一「政治小説・坪内逍遙・二葉亭四迷 研究案内」6-7. 「編集後記」8.

『2 福澤諭吉・中江兆民・徳富蘇峰・三宅雪嶺・岡倉天心・内村鑑三集』 1972年7月 ⑦①。

鹿野政直「文明とはなにか——諭吉・兆民・蘇峰・雪嶺の思考から」1-3. 稲谷秀昭「『茶の本』の感動」4-5. 久山康「苦悩の能力と社会主義」5&8. 前田愛「福澤諭吉・中江兆民・徳富蘇峰・三宅雪嶺・岡倉天心・内村鑑三 研究案内」6-7.

『3 尾崎紅葉・廣津柳浪・内田魯庵・齋藤緑雨集』 1970年11月 ④⑩。

吉田精一「紅葉と魯庵」1-2. 廣津桃子「二つの姿——柳浪と和郎」3-4. 花田清輝「芸術家の誕生」4-5&8. 紅野敏郎「尾崎紅葉・広津柳浪・内田魯庵・齋藤緑雨 研究案内」6-7. 「編集後記」8.

『4 幸田露伴集』 1971年8月 ⑤④。

大岡信「譚言についての短見」1-3. 鹽谷贊「褒められたこと」3-4. 田中西二郎「『対髑髏』覚書」4-5&8. 谷沢永一「幸田露伴 研究案内」6-7.

『5 樋口一葉・明治女流文学・泉鏡花集』 1972年5月 ⑥⑦。

前田愛「ふたつの自画像」1-2. 井上百合子「明治の女流作家——大塚楠緒子の場合」3-4. 川村二郎「暗い華やぎ」4-5&8. 紅野敏郎「樋口一葉・明治女流文学・泉鏡花

- 研究案内」6-7&8.
- 『6 北村透谷・山路愛山集』 1969年6月 14].
丸山静「透谷について」1-3. 小西四郎「歴史家山路愛山」3-4. 石丸久「愛山・透谷論争の前後」4-5&8. 谷沢永一「北村透谷・山路愛山 研究案内」6-7. 「編集室より」8.
- 『7 森鷗外集 (一)』 1969年8月 18].
長谷川泉「『魔睡』と『キタ・セクスアリス』」1-2. 小堀桂一郎「森鷗外とイタリア」2-4. 斎藤正二「鷗外論に関する疑義二三」4-5&8. 小田切進「森鷗外 研究案内」6-7. 「編集後記」8. 紅野敏郎(作製)「志賀直哉著作目録 (第34巻の補)」9-10. 小田切進(作製)「川端康成著作目録 (第52巻の補)」11-12.
- 『8 森鷗外集 (二)』 1971年4月 48].
大岡信・川村二郎・丸谷才一「鼎談 人間鷗外と秘密」1-8.
- 『9 徳富蘆花・木下尚江集』 1971年10月 56].
紅野敏郎「蘆花と尚江——後閑さんの結びめ」1-3. 中野好夫「『思出の記』をめぐってのある挿話」3-5. 鹿野政直「失われたある可能性」5&8. 小田切進「徳富蘆花・木下尚江 研究案内」6-7.
- 『10 正岡子規・伊藤左千夫・長塚節集』 1971年10月 57].
久保田正文「女性関係のこと」1-2. 高田瑞穂「『野菊の墓』をめぐって」2-4. 笠原伸夫「長塚節と鬼怒川」4-5&8. 谷沢永一「正岡子規・伊藤左千夫・長塚節 研究案内」6-7.
- 『11 國木田獨歩・田山花袋集』 1970年3月 28].
中野好夫「独歩と花袋のこと 若き日の思い出から」1-2. 塩田良平「本当に『欺かざるの記』か」2-4. 小林一郎「田山花袋と俳句」4-5. 紅野敏郎「國木田獨歩・田山花袋 研究案内」6-8.
- 『12 土井晩翠・薄田泣菫・蒲原有明・伊良子清白・横瀬夜雨・河井醉茗・三木露風・日夏耿之介集』 1971年11月 59].
島本久恵・高田瑞穂・吉田精一「鼎談 明治大正の詩人群像」1-7&10. 紅野敏郎「土井晩翠・薄田泣菫・蒲原有明・伊良子清白・横瀬夜雨・河井醉茗・三木露風・日夏耿之介 研究案内」8-9.
- 『13 島崎藤村集 (一)』 1968年10月 2].
杉浦明平「藤村との出会い」1-2. 三好行雄「藤村の習作」2-4. 大岡信「藤村詩の

- 朗読」4-5&8. 小田切進「島崎藤村 研究案内」6-7. 「編集後記」8.
- 〔14 島崎藤村集 (二)〕 1970年1月 〔25〕.
会田綱雄「お糸のこと」1-2. 和田謹吾「『私達』への道」2-4. 所三男「大黒屋日記」4-5. 「資料:「夜明け前」用語案内」6-7. 「編集後記」7. 「木曾街道の一部〔地図〕」8.
- 〔15 徳田秋声集〕 1970年10月 〔39〕.
野田宇太郎「秋声日記と武田麟太郎」1-2. 寺崎浩「秋声について」2-4. 徳田一穂「秋声の場合」4-5. 小田切進「徳田秋声 研究案内」6-7. 「編集後記」8.
- 〔16 正宗白鳥集〕 1969年7月 〔16〕.
杉森久英「白鳥と私」1-2. 竹西寛子「私のための部屋」2-4. 佐藤泰正「白鳥とキリスト教」4-5&8. 紅野敏郎「正宗白鳥 研究案内」6-7. 田熊渭津子(作製)「芥川龍之介著作目録(第43巻の補)」9-10.
- 〔17 夏目漱石集 (一)〕 1968年10月 〔3〕.
林原耕三「あの眼、あの言葉——漱石文学の秘密」1-3. 高橋和巳「漱石の文人精神」3-4. 楠本憲吉「漱石と俳句」4-5&8. 小田切進「夏目漱石 研究案内」6-7. 「編集後記」8.
- 〔18 夏目漱石集 (二)〕 1970年5月 〔31〕.
荒正人「小さい覚え書」1-3. 磯田光一「最近の漱石観——丸谷・江藤氏の新説をめぐって」3-5. 内田道雄「漱石研究 最近の動向〔書誌〕」6-7. 「編集後記」8. 三好行雄(作製)「大岡昇平著作目録(第85巻の補)」9.
- 〔19 高濱虚子・河東碧梧桐集〕 1968年12月 〔6〕.
高浜年尾「父虚子のこと」1-2. 阿部喜三男「一本気な碧梧桐」2-4. 金子兜太「虚子と碧梧桐」4-5&8. 小田切進「虚子・碧梧桐 研究案内」6-7. 「編集後記」8.
- 〔20 柳田国男集〕 1969年3月 〔10〕.
川村二郎「『ウソ』の復権」1-2. 中根千枝「柳田先生の魅力」2-4. 上野勇「柳田先生と『上毛民俗』」4-5&8. 谷沢永一「柳田国男 研究案内」6-7. 「編集後記」8.
- 〔21 岩野泡鳴・真山青果・上司小剣・近松秋江集〕 1970年10月 〔38〕.
田中保隆「泡鳴と秋江」1-3. 平野謙「上司小剣の側面」3-4. 真山美保「父・真山青果のこと」4-5&8. 谷沢永一「岩野泡鳴・真山青果・上司小剣・近松秋江 研究案内」6-7.
- 〔22 幸徳秋水・堺枯川・田岡嶺雲・大杉榮・荒畑寒村・河上肇集〕 1972年2月 〔62〕.
塩田庄兵衛「秋水と枯川」1-2. 小田切秀雄「田岡嶺雲の新しさ」2-4. 大沢正道「〔検

- 関官」大杉栄 4-5. 堀江邑一「『論文を懐に入れて暖める』——河上肇博士の「文章」についての思い出」5&8. 谷沢永一「幸徳秋水・堺枯川・田岡嶺雲・大杉栄・荒畑寒村・河上肇 研究案内」6-7.
- 『23 永井荷風集 (一)』 1969年10月 20.
稲垣達郎「『夜の女界』中の荷風作品について」1-2. 齋藤磯雄「荷風とボードレール」3-4. 巖谷大^{いわや}四「荷風先生からお金を頂戴した話」4-5&8. 小田切進「永井荷風 研究案内」6-7. 「編集後記」8. 相馬正一(作製)「著作目録 太宰治」9. 関井光男(作製)「著作目録 坂口安吾」10.
- 『24 永井荷風集 (二)』 1971年12月 60.
大岡信・川村二郎・丸谷才一「鼎談 荷風文学を語る」1-8.
- 『25 與謝野寛・與謝野晶子・上田敏・木下杢太郎・吉井勇・小山内薫・長田秀雄・平出修集』 1971年4月 47.
高田瑞穂・野田宇太郎・深尾須磨子「鼎談『明星』から『スバル』へ」1-7&10. 紅野敏郎「與謝野寛・與謝野晶子・上田敏・木下杢太郎・吉井勇・小山内薫・長田秀雄・平出^{ひらいで・しゅう}修 研究案内」8-9.
- 『26 北原白秋・石川啄木集』 1972年2月 63.
高橋新吉「白秋と啄木」1-3. 宮柊二「白秋先生の思い出」3-5. 小島信夫「啄木と東京語」5&8. 堀江信男「北原白秋・石川啄木 研究案内」6-7.
- 『27 高村光太郎・宮澤賢治集』 1969年9月 19.
天沢退二郎「光太郎対賢治」1-2. 高田博厚「光太郎と社会思想」2-4. 紀野一義「心象開眼」4-5&8. 紅野敏郎「高村光太郎・宮澤賢治 研究案内」6-7. 「編集後記」8. 谷沢永一(作製)「柳田國男著作目録(第20巻の補)」9-12.
- 『28 若山牧水・太田水穂・窪田空穂・前田夕暮・土岐善磨・川田順・飯田蛇笏・水原秋櫻子・山口誓子・中村草田男・加藤楸邨・石田波郷集』 1973年8月 95.
篠弘「近代短歌と『敗戦』」1-3. 金子兜太「昭和前期」4-5&8. 武川忠一・松井利彦「若山牧水・太田水穂・窪田空穂・前田夕暮・土岐善磨・川田順・飯田蛇笏・水原秋櫻子・山口誓子・中村草田男・加藤楸邨・石田波郷 研究案内」6-7.
- 『29 鈴木三重吉・森田草平・寺田寅彦・内田百閒・中勘助集』 1971年6月 51.
奥野健男「草平・三重吉・勘助など——漱石文学実験室の人びと」1-3. 高橋義孝^{べんがらや}「榜葛刺屋書房刊」3-4. 小林惟司「『花物語』の舞台」4-5&8. 紅野敏郎「鈴木三重吉・

森田草平・寺田寅彦・内田百閒・中勘助 研究案内」6-7.

『30 谷崎潤一郎集 (一)』 1969 年 4 月 ⑫.

澁澤龍彦「地震と病気 谷崎文学の本質」1-2. 瀬戸内晴美「法然院の墓」2-4. ハワード・ヒベット「特別寄稿:「卍」とその女性聖像」4-5&8. 小田切進「谷崎潤一郎 研究案内」6-7. 「編集後記」8.

『31 谷崎潤一郎集 (二)』 1970 年 11 月 ④①.

秦恒平「花は桜」1-3. 宇能鴻一郎「女の悪口を言わぬ男」3-4. 嶋中鵬二「谷崎先生の思い出」4-6. 観世栄夫「谷崎と音曲」6-8. 「編集後記」8.

『32 秋田雨雀・小川未明・坪田譲治・田村俊子・武林無想庵集』 1973 年 1 月 ⑧①.

尾崎宏次「雨雀と仏教」1-2. 鳥越信「未明・譲治研究の今後」2-4. 会田綱雄「田村俊子さんのこと」4-5. 瀬沼茂樹「流転と飢渴と悟達」5&8. 紅野敏郎「秋田雨雀・小川未明・坪田譲治・田村俊子・武林無想庵 研究案内」6-7.

『33 武者小路實篤集』 1970 年 4 月 ⑩③.

武者小路実篤・きき手瀬沼茂樹「対談 思いだすまに」1-7&10. 紅野敏郎「武者小路実篤 研究案内」8-9. 「編集後記」10.

『34 志賀直哉集』 1968 年 11 月 ④④.

葛巻義敏(編)・芥川龍之介「志賀直哉氏の短篇(断片)」1-4. 藤枝静男「志賀氏の油絵」4-5. 小川国夫「典型としての家」5-7. 「参考:「白樺」発刊に際して」7. 小田切進「志賀直哉 研究案内」8-9. 「編集後記」10.

『35 有島武郎集』 1970 年 9 月 ⑩⑦.

安川定男「有島の日本近代作家観」1-2. 児玉晃一「アメリカにおける有島武郎」2-4. 川鎮郎^{かわ}「有島武郎とキリスト教」4-5&8. 紅野敏郎「有島武郎 研究案内」6-7. 「編集後記」8.

『36 長與善郎・野上彌生子集』 1971 年 2 月 ④⑤.

福田清人「長與善郎氏の思い出」1-2. 喜多村和之「長與先生という人」2-3. 唐木順三「野上さんの好奇心」3-5. 三枝佐枝子^{ささぐさ}「野上先生のこと」5&8. 小田切進「長與善郎・野上彌生子 研究案内」6-7.

『37 里見弴・久保田万太郎集』 1972 年 3 月 ⑥④.

上^{かみつかさ}海雲「多情仏心」1-2. 村松定孝「里見弴と泉鏡花」2-4. 高田瑞穂「万太郎像の生動」4-5. 安住敦「久保田万太郎の句碑」5&8. 紅野敏郎「里見弴・久保田万太

- 郎 研究案内」6-7.
- 〔38 齋藤茂吉集〕 1969年11月 〔23〕.
北杜夫「父の癖など」1-2. 上田三四二「ひとつの嘘」2-4. 藤岡武雄「茂吉とヨーロッパの娘たち」4-5&8. 谷沢永一「齋藤茂吉 研究案内」6-8. 池上浩山人(虚子担当)・安部喜三男(碧梧桐担当)「著作目録(第19巻の補)」9-11.
- 〔39 島木赤彦・岡麓・中村憲吉・土屋文明・木下利玄・古泉千樫・会津八一集〕 1973年6月 〔91〕.
白井吉見「赤彦 麓 文明」1-3. 上田三四二「三人の病歌人」3-5. 宮川寅雄「秋艸道人のあれこれ」5&8. 本林勝夫「島木赤彦・岡麓・中村憲吉・土屋文明・木下利玄・古泉千樫・会津八一 研究案内」6-7.
- 〔40 魚住折蘆・安倍能成・阿部次郎・和辻哲郎・生田長江・倉田百三・長谷川如是閑・辻潤集〕 1973年2月 〔84〕.
大島康正「明治三十年代の哲学青年たち」1-4. 長谷川泉「^{えいきょ}盈虚の模索彷徨——長江・百三・如是閑・潤一」4-5&8. 大西貢「魚住折蘆・^{せつろ}安倍能成・阿部次郎・和辻哲郎・生田長江・倉田百三・長谷川如是閑・辻潤 研究案内」6-7.
- 〔41 千家元麿・山村暮鳥・福士幸次郎・佐藤惣之助・野口米次郎・堀口大學・吉田一穂・西脇順三郎集〕 1972年12月 〔80〕.
大岡信・川村二郎・篠田一士「鼎談 近代詩熟成期の詩人たち」1-7&10. 千葉宣一「^{いっすい}千家元麿・山村暮鳥・福士幸次郎・佐藤惣之助・野口米次郎・堀口大学・吉田一穂・西脇順三郎 研究案内」6-7.
- 〔42 佐藤春夫集〕 1969年6月 〔15〕.
青柳瑞穂「佐藤春夫、ほくの神様」1-2. ^{きぎ}木々高太郎「佐藤春夫先生と私」2-4. 黒田三郎「清新な印象」4-5&8. 紅野敏郎「佐藤春夫 研究案内」6-7. 「編集後記」8.
- 〔43 芥川龍之介集〕 1968年8月 〔1〕.
中野重治「「美しい村」のこと」1-2. 中村真一郎「芥川と王朝」2-4. 加賀乙彦「「歯車」の診断」4-5&8. 小田切進「芥川龍之介 研究案内」6-7. 「編集後記」8.
- 〔44 山本有三・菊池寛集〕 1972年10月 〔76〕.
遠藤祐「菊池寛と山本有三——劇からの出発」1-3. 高橋健二「その後の山本有三先生」3-5. 大西貢「菊池寛の作劇精神——「狂ふ人々」と「順番」との間」5&8. 浅井清「山本有三・菊池寛 研究案内」6-7.

- 〔45 水上瀧太郎・豊島與志雄・久米正雄・小島政二郎・佐佐木茂索集〕 1973年8月 〔96〕。
石坂洋次郎「二足のわらじ」1-2. 渾大防^{こんだいぼう}五郎「豊島さんのこと」2-3. 河上徹太郎「久米正雄と佐佐木茂索」3-5. 野口富士男「私見・小島政二郎氏」5&8. 紅野敏郎「水上龍太郎・豊島與志雄・久米正雄・小島政二郎・佐佐木茂索 研究案内」6-7. 「編集部より」8.
- 〔46 宇野浩二・廣津和郎集〕 1971年9月 〔55〕。
谷崎精二「広津と宇野」1-3. 水上勉「宇野先生の「口述」」3-4. 吉岡達夫「回想」4-5&8. 紅野敏郎「宇野浩二・広津和郎 研究案内」6-8.
- 〔47 室生犀星・萩原朔太郎集〕 1970年2月 〔27〕。
生野^{しょうの}幸吉「朔太郎と犀星」1-2. 奥野健男「未来へひらかれた文学」3-4. 洪沢孝輔「定家・有明・朔太郎」4-5&8. 小田切進「室生犀星・萩原朔太郎 研究案内」6-7.
- 〔48 瀧井孝作・網野菊・藤枝静男集〕 1972年12月 〔79〕。
斎藤正二「瀧井孝作先生の肖像」1-3. 広津桃子「網野さん」3-5. 本多秋五「藤枝静男のこと」5&8. 紅野敏郎「瀧井孝作・網野菊・藤枝静男 研究案内」6-7.
- 〔49 葛西善藏・相馬泰三・宮地嘉六・嘉村磯多・川崎長太郎・木山捷平集〕 1973年2月 〔83〕。
今官一「善藏の口述筆記」1-2. 紅野敏郎「相馬泰三・宮地嘉六」3-4. 尾崎一雄「弟の同級生だが——」4-5. 井伏鱒二「木山捷平の怪我」5&8. 谷沢永一「葛西善藏・相馬泰三・宮地^{みやち}嘉六・嘉村^{かむら・いそた}磯多・川崎長太郎・木山捷平 研究案内」6-7.
- 〔50 尾崎士郎・石坂洋次郎・芹澤光治良集〕 1971年5月 〔49〕。
保田^{やすだ}興重郎「懐友記」1-3. 安岡章太郎「まるくて暗い津軽の顔」3-4. 浅見淵「『巴里に死す』について」4-5&8. 紅野敏郎「尾崎士郎・石坂洋次郎・芹澤光治良 研究案内」6-7. 「編集後記」8.
- 〔51 横光利一・伊藤整集〕 1970年8月 〔36〕。
稲垣足穂^{きこく}「梶殻と記憶——横光利一のこと」1-2. 草野心平「一つの石像」2-3. 十和田操「一つの安^ザ石榴^{クロ}に托し」3-5. 奥野数美「伊藤先生のこと」5&8. 小田切進「横光利一・伊藤整 研究案内」6-7.
- 〔52 川端康成集〕 1968年 丑〔12〕月 〔5〕。
東山魁夷「孔雀筆のことなど」1-2. 寺田透「因縁」3-4. 森茉莉「灰色の化鳥」4-5&8. 小田切進「川端康成 研究案内」6-7. 「編集後記」8.

- 『53 大佛次郎・岸田國士・岩田豊雄集』 1971年3月 46.
渡辺一民「大佛次郎讚」1-3. 古山高麗雄「弟子の意識」3-4. 飯沢匡「画家としての獅子文六」5&8. 谷沢永一「大佛次郎・岸田國士・岩田豊雄 研究案内」6-7.
- 『54 片上伸・平林初之輔・青野季吉・宮本顯治・藏原惟人集』 1973年1月 82.
松下裕「先輩片上伸^{のふる}」1-2. 栗原幸夫「平林初之輔と青野季吉」2-4. 佐藤静夫「宮本さんと藏原さん」4-5&8. 谷沢永一「片上伸・平林初之輔・青野季吉・宮本顯治・藏原惟人 研究案内」6-7.
- 『55 宮本百合子・小林多喜二集』 1969年10月 21.
瀬沼茂樹「百合子・多喜二素描」1-2. 湯浅芳子「運命的な百合子との出逢い」3-4. 小笠原克「小樽の道——多喜二と整と」4-5&8. 小田切進「宮本百合子・小林多喜二 研究案内」6-7. 「編集後記」8. 保昌正夫(作製)「小林秀雄著作目録(第60巻の補)」9-10.
- 『56 葉山嘉樹・黒島傳治・平林たい子集』 1971年7月 52.
西野辰吉「葉山嘉樹について」1-2. 久保田正文「[紋]・その他」2-4. 藤原てい「たい子先生」4-5&8. 小田切進「葉山嘉樹・黒島伝治・平林たい子 研究案内」6-7. 「編集後記」8.
- 『57 中野重治・佐多稲子集』 1970年6月 32.
小田切秀雄「転向問題についてのコメント」1-3. 亀井秀雄「高麗人形一個四千元」3-4. 田中澄江「佐多稲子さん」4-5&8. 紅野敏郎「中野重治・佐多稲子 研究案内」6-7. 三好行雄(作製)「三島由紀夫著作目録(第85巻の補II)」9-10.
- 『58 村山知義・久保栄・眞船豊・三好十郎集』 1972年8月 73.
菅井幸雄「半世紀の重み——村山知義の位置」1-3. 松本克平「真船戯曲の妙味」3-4. 平田次三郎「久保栄と三好十郎の印象」4-5&8. 藤木宏幸「村山知義・眞船豊・久保栄・三好十郎 研究案内」6-7. 「編集室より」8.
- 『59 前田河廣一郎・徳永直・伊藤永之介・壺井榮集』 1973年5月 90.
壺井繁治「ある日の前田河広一郎」1-2. 間宮茂輔「徳永直の孤独な抵抗」2-3. 鶴田知也「物いわぬ伊藤永之介君」3-5. 高杉一郎「個人的な思い出」5&8. 堀江信男「前田河広一郎・徳永直・伊藤永之介・壺井榮 研究案内」6-7.
- 『60 小林秀雄集』 1969年2月 8.
高見沢潤子「兄と私」1-2. 吉田秀和「小林秀雄の嗅覚」2-4. 松原新一「小林秀雄

- 氏に学んだこと」4-5&8. 小田切進「小林秀雄 研究案内」6-7.
- 『61 林房雄・龜井勝一郎・保田與重郎・蓮田善明集』 1970年12月 ㉔.
永井龍男「林さんの新作」1-2. 梅原猛「龜井勝一郎」2-3. 中谷孝雄「最後の文人」
3-5. 桶谷秀昭「熱意の悲劇」5&8. 谷沢永一「林房雄・龜井勝一郎・保田與重郎・
蓮田善明 研究案内」6-7.
- 『62 牧野信一・稻垣足穂・十一谷義三郎・犬養健・中河與一・今東光集』 1973年4月 ㉘.
奥野健男「牧野信一・十一谷義三郎・犬養健——近代と現代の谷間に迷いこんだ人々」
1-3. 梁雅子「わが師稻垣足穂」3-4. 栗坪良樹「今東光・中河與一と新感覚派」
5&8&7. 紅野敏郎「牧野信一・稻垣足穂・十一谷義三郎・犬養健・中河與一・今東
光 研究案内」6-7.
- 『63 梶井基次郎・外村繁・中島敦集』 1970年7月 ㉑.
坂上弘「梶井文学の親密さ」1-2. 平林英子「外村さんと酒」2-4. 手塚富雄「中島
敦のこと」4-5. 浅井清「梶井基次郎・外村繁・中島敦 研究案内」6-7. 「編集後記」8.
- 『64 堀辰雄・三好達治集』 1969年8月 ㉒.
田中克己「三好さんと堀さん」1-2. 矢内原伊作「病床の堀さん」2-4. 窪田般彌「達
治雑感」4-5. 小田切進「堀辰雄・三好達治 研究案内」6-7. 「編集後記」8.
- 『65 井伏鱒二・上林暁集』 1970年8月 ㉓.
尾崎一雄「井伏、上林両氏の色紙」1-2. 中西悟堂「清士のつきあい」3-4. 石田外
茂一「四十年後の再会」4-5. 谷沢永一「井伏鱒二・上林暁 研究案内」6-7. 「編集後
記」8.
- 『66 河上徹太郎・山本健吉・吉田健一・江藤淳集』 1972年8月 ㉔.
林房雄「晩年の仕事と志」1-2. 遠藤周作「経堂の頃」2-4. 杉森久英「吉田さんの
こと」4-5. 田久保英夫「『三田文学』の頃」5&8. 紅野敏郎「河上徹太郎・山本健吉・
吉田健一・江藤淳 研究案内」6-7.
- 『67 金子光晴・小熊秀雄・北川冬彦・小野十三郎・高橋新吉・萩原恭次郎・山之口獏・
伊東静雄・中原中也・立原道造・草野心平・村野四郎集』 1973年7月 ㉕.
大岡信・川村二郎・篠田一士「鼎談 昭和詩を語る」1-9&12. 千葉宣一「金子光晴・
小熊秀雄・北川冬彦・小野十三郎・高橋新吉・萩原恭次郎・山之口獏・伊東静雄・
中原中也・立原道造・草野心平・村野四郎 研究案内」10-11.
- 『68 尾崎一雄・中山義秀集』 1969年12月 ㉖.

- 上林暁^{としゅう}「義秀さんと尾崎さん」1-2. 丹羽文雄「尾崎一雄のこと」3-4. 中島健蔵「中山義秀の思い出一つ」4-5. 大岡昇平「中山義秀の死——非情と同情の目と」5&8. 紅野敏郎「尾崎一雄・中山義秀 研究案内」6-7. 浅井清(作製)「[井上靖・永井龍男] 著作目録(第86巻の補)」9-10.
- 『69 林芙美子・宇野千代・幸田文集』 1969年11月 22.
河盛好藏「『巴里日記』など」1-2. 宇野千代「能力は天与のものか」3-4. 幸田文「ひりひりする言葉」4-5. 紅野敏郎「林芙美子・宇野千代・幸田文 研究案内」6-7. 「編集後記」8.
- 『70 武田麟太郎・島木健作・織田作之助・檀一雄集』 1970年6月 33.
武田文章「空模様」1-2. 佐古純一郎「第一義の道」2-3. 関井光男「織田作之助の詩想」3-5. 別所直樹「酒と雲と檀一雄氏」5&8. 紅野敏郎「武田麟太郎・島木健作・織田作之助・檀一雄 研究案内」6-7.
- 『71 高見順・円地文子集』 1972年4月 66.
石垣綾子「こまやかな目と心」1-2. 矢口純「湯の湖の畔」2-3. 網野菊「美しい長襦袢」3-5. 瀬戸内晴美「無垢の人」5&8. 小田切進「高見順・円地文子 研究案内」6-7.
- 『72 丹羽文雄・岡本かの子集』 1971年1月 43.
河野多恵子「救いと励まし」1-2. 十返千鶴子^{とがえり}「原稿の入った封筒」2-3. 金井美恵子「生々流転の中の死」3-5. 古谷照子「川性の女のいのち」5&8. 小田切進「丹羽文雄・岡本かの子 研究案内」6-7.
- 『73 阿部知二・丸岡明・田宮虎彦・長谷川四郎集』 1972年11月 78.
青地晨「阿部ちゃんの会」1-2. 庄野誠一「丹念に釣糸をほぐす丸岡」2-4. 岩崎昶「田宮虎彦の文学」4-5. 霜多正次^{しもた}「庶民的な大男」5&8. 井口一男「阿部知二・丸岡明・田宮虎彦・長谷川四郎 研究案内」6-7.
- 『74 中島健蔵・河盛好藏・中野好夫・桑原武夫集』 1972年9月 74.
諸井三郎「中島健蔵のこと」1-2. 桑原武夫「河盛さんのこと」2-3. 中島健蔵「中野好夫のこと」4-5. 河盛好藏「交友五十年」5&8. 今村忠純「中島健蔵・河盛好藏・中野好夫・桑原武夫 研究案内」6-7.
- 『75 石川達三・火野葦平集』 1972年11月 77.
巖谷大四^{いわや}「石川さんのこと」1-2. 久保田正文「まぼろしの短篇小説」2-3. 井上友

- 一郎「若き日の火野葦平」3-5. 野田宇太郎「火野葦平と河童」5&8. 岩尾正勝「石川達三・火野葦平 研究案内」6-7.
- 『76 石川淳・安部公房・大江健三郎集』 1969年5月 ⑬.
- 村上一郎「『神神』の登音」1-2. 秋山駿「ハイボールの音」2-4. 吉野壯児「あ、ベガサスがむずむずする」4-5. 小田切進「石川淳・安部公房・大江健三郎 研究案内」6-7. 「編集後記」8.
- 『77 太宰治・坂口安吾集』 1969年2月 ⑨.
- 平岩八郎「思い出すこと——二十二、三年頃のこと」1-2. 島崎敏樹「太宰の生と死」2-4. 小川徹「安吾復活——白痴型とジロリ型」4-5&8. 小田切進「太宰治・坂口安吾 研究案内」6-7. 「斜陽」傑作… [書簡]」8.
- 『78 中村光夫・唐木順三・白井吉見・竹内好集』 1971年11月 ⑤⑧.
- 平岡昇「『今はむかし』の余白に」1-2. 高橋英夫「唐木氏の文芸時評」2-4. 島本久恵「安曇野の人」4-5. 埴谷雄高「国士竹内好」5&8. 谷沢永一「中村光夫・唐木順三・白井吉見・竹内好 研究案内」6-7&8.
- 『79 本多秋五・平野謙・荒正人・埴谷雄高・小田切秀雄集』 1972年6月 ⑥⑨.
- 紅野敏郎「『近代文学』の人びと——山室・本多・平野氏」1-3. 野口富士男「蕾の季節——『現代文学』のこと」3-5. 日野啓三「『近代文学』と私」5&8. 古林尚「本多秋五・平野謙・荒正人・埴谷雄高・小田切秀雄 研究案内」6-7.
- 『80 椎名麟三・梅崎春生集』 1971年8月 ⑤③.
- 佐々木基一「椎名麟三のユーモア」1-2. 野口富士男「『愛』について——椎名麟三君のこと」2-3. 武田泰淳「心やさしき梅崎さん」3-5. 梅崎光生「春生の父祖」5&8. 小田切進「椎名麟三・梅崎春生 研究案内」6-7.
- 『81 野間宏・武田泰淳集』 1972年6月 ⑥⑧.
- 内田義彦「一語・一語の巨塔」1-2. 奈良本辰也「野間君と私について」2-3. 椎名麟三「武田さんと法爾」4-5. 梅崎恵津「泰淳先生のおおらかさ」5&8. 古林尚「野間宏・武田泰淳 研究案内」6-7.
- 『82 加藤周一・中村真一郎・福永武彦集』 1971年6月 ⑤⑩.
- 矢内原伊作「春宵一刻」1-2. 吉田秀和「加藤周一断章」2-4. 杉浦明平「信濃・軽井沢派と中村真一郎」4-5. 白井健三郎「福永のイメージ」5&8. 小久保実「加藤周一・中村真一郎・福永武彦 研究案内」6-7.

- 『83 森本薫・木下順二・田中千禾夫・飯澤匡集』 1970年4月 29.
加藤新吉「『女の一生』の定本は？」1-2. 尾崎宏次「木下順二のこと」2-3. 石沢秀二「『マリアの首』へのアプローチ」3-5. 菅井幸雄「飯沢喜劇の魅力」5&8. 越智治雄「森本薫・木下順二・田中千禾夫・飯澤匡 研究案内」6-7.
- 『84 花田清輝・杉浦明平・開高健・小田実集』 1972年4月 65.
高橋英夫「セミとりの夢」1-2. 田所太郎「二つの件」2-4. 谷沢永一「習作時代の開高健」4-5. 金石範「小田実のこと」5&8. 紅野敏郎「花田清輝・杉浦明平・開高健・小田実 研究案内」6-7.
- 『85 大岡昇平・三島由紀夫集』 1969年1月 7.
後藤亮「少年大岡昇平像」1-2. 清水文雄「学習院時代の三島由紀夫」3-4. 吉田健一「大岡昇平氏と三島由紀夫氏」4-5&8. 小田切進「大岡昇平・三島由紀夫 研究案内」6-7. [編集後記] 8.
- 『86 井上靖・永井龍男集』 1969年4月 11.
高橋義孝「井上さんと永井さん」1-2. 益田勝実「不往生」2-4. 「参考図「天平の薨」」4. 庄野潤三「勤工場のこと」4-5&8. 小田切進「井上靖・永井龍男 研究案内」6-7. 「編集後記」8.
- 『87 堀田善衛・遠藤周作・井上光晴集』 1972年7月 70.
竹内泰宏「国際作家堀田善衛——アジア・アフリカ作家会議をつうじて」1-3. 小久保実「遠藤周作氏の『堀辰雄』」3-5. 埴谷雄高「全身小説家、井上光晴」5&8. 古林尚「堀田善衛・遠藤周作・井上光晴 研究案内」6-7.
- 『88 阿川弘之・庄野潤三・曾野綾子・北杜夫集』 1970年2月 26.
芦田伸介「犬と作家と俳優と」1-2. 結城信一「庄野潤三氏の魅力」2-3. 筒井康隆「曾野綾子讃」3-5. 辻邦生「四谷時代の北杜夫」5&8. 谷沢永一「阿川弘之・庄野潤三・曾野綾子・北杜夫 研究案内」6-7.
- 『89 深澤七郎・三浦朱門・有吉佐和子・水上勉集』 1972年1月 61.
阿部正路「同行二人——日沼倫太郎と深沢七郎」1-2. 吉行淳之介「二十年間」2-4. 利倉幸一「有吉さんのこと」4-5. 和田芳恵「『冬日の道』補遺」5&8. 小田切進「深沢七郎・三浦朱門・有吉佐和子・水上勉 研究案内」6-7.
- 『90 島尾敏雄・小島信夫・安岡章太郎・吉行淳之介集』 1972年10月 75.
吉本隆明「〈関係〉としてみえる文学」1-2. 宗左近「すんだ目——ある日の小島さん」

24. 石山皓一「ひぐらし」4-5. 中村稔「吉行と『世代』の仲間たち」5&8&7. 桜井克明「島尾敏雄・小島信夫・安岡章太郎・吉行淳之介 研究案内」6-7.
- 『91 現代名作集 (一)』 1973年3月 85.
藤森成吉「磯茂左衛門について」1-2. 小田嶽夫「或る日突然」2-4. 澁川驍「龍源寺」発表の頃」4-5&8. 和泉あき「現代名作集(一) 研究案内」6-7&8.
- 『92 現代名作集 (二)』 1973年3月 86.
沢野久雄「夜の河」のころ」1-2. 河野多恵子「あの一年のこと」2-4. 三浦哲郎「没原稿の行方」4-5&8. 和泉あき「現代名作集(二) 研究案内」6-7. 森茉莉「父の帽子」のころ」8.
- 『93 現代詩集』 1973年4月 87.
丸山薫「詩というもの」1-3. 竹中郁「トンブ・イソワール通り」3-5. 大岡信「「權」のことなど」5&8. 千葉宣一「現代詩集 研究案内」6-7.
- 『94 現代歌集』 1973年6月 92.
鹿兒島寿蔵「桜のあとに」1-3. 五島茂「昭和三年、四年のころ」3-4. 中野菊夫「歌集「風の日に」刊行の頃」4-5&8. 篠弘「現代歌集 研究案内」6-7.
- 『95 現代句集』 1973年9月 97.
安東次男・斎藤正二・石原八束「鼎談 現代俳句を語る」1-9&12. 井上宗雄「現代句集 研究案内」10-11. 「編集部より」12.
- 『96 文藝評論集』 1973年7月 93.
長谷川泉「巨視と微視」1-3. 入江隆則「私の出会った批評家」4-5&8. 高橋春雄「文芸評論集 研究案内」6-7.
- 『97 現代評論集』 1973年5月 89.
野島秀勝「戦後日本のアイデンティティ」1-3. 松原新一「知識人の問題」4-5&8. 谷沢永一「戦後思想史研究案内」6-7&8.
- 『別冊 現代文學風土記』 1968年8月. 奥野健男・吉田精一共著. 非売品, 月報なし.

【昭和国民文学全集】 1973年6月～74年10月 30巻。 【30国】

※四六判上製函入. 980～1,500円. 白井吉見は1953年の編集会議で『大衆文学全集』の企画を先ず提案したが(『筑摩書房の三十年』, p. 204), その際には『現代文学全集』が方針化されて, 【99全】は1,300万冊を売り上げて自転車操業中の筑摩書房の危機を救った. ところが20年後に再び社運が傾いてしまい, 同社は「昭初期の大衆文学に光をあてる野心的な試み」と『新刊ニュース』(1973年6月)が広告するこの【30国】を「付録」を挿み込んで刊行した. 1977～79年には全35巻の増補版、が再刊されたが, 「付録」は制作されなかったようであり, 結局1978年には会社更生法の適用を申請するに至った. ※なお, 尾崎秀樹の「大衆文学逸史」は『文壇うちそと』(筑摩書房, 1975)に収録されている.

- 『1 吉川英治集』 1973年9月 ⑤.
中島河太郎「終戦前後の推理作家」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉5 草創期の息吹き」4-8. 「編集室より」8.
- 『2 大佛次郎集』 1973年6月 ①.
井伏鱒二「風貌姿勢——徴用中の海音寺潮五郎・小栗虫太郎・その他^{むし}」1-3. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉1 処女作当時の大佛次郎」4-7. 「編集室より」8.
- 『3 直木三十五集』 1974年10月 ⑳.
武蔵野次郎「大衆文学の作家(二)」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉29 作家の生きかた」4-8.
- 『4 林不忘集』 1974年6月 ㉒.
駒田信二「「大衆」という言葉について(二)」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉22 文壇のモンスター」4-8. 「編集室より」8.
- 『5 長谷川伸集』 1974年9月 ㉘.
武蔵野次郎「大衆文学の作家(一)」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉28 長谷川伸と土師清二」4-8. 「編集室より」8.
- 『6 子母澤寛集』 1974年1月 ㉑.
榎田克巳「大佛次郎氏追懐」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉11 ルーランの地で」

- 4-8. 「編集室より」8.
- 『7 角田喜久雄・国枝史郎集』 1974年6月 ⑳.
- 駒田信二「『大衆』という言葉について(一)」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉21 伝奇小説の担い手」4-8. 「編集室より」8.
- 『8 川口松太郎集』 1974年5月 ㉑.
- 村上元三「私の大衆文学メモ(二) 雑誌『大衆文芸』」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉19 過渡期の速記講談」4-8. 「編集室より」8.
- 『9 海音寺潮五郎集』 1974年2月 ㉒.
- 巖谷大四「〈文壇よもやま話〉2 作家の雅号と筆名」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉13 「文学建設」のころ」4-8. 「編集室より」8.
- 『10 山本周五郎集』 1973年8月 ㉓.
- 和田芳恵「『日本小説』終刊の頃」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉4 ふたり伯楽」4-8. 「編集室より」8.
- 『11 村上元三集』 1974年5月 ㉔.
- 村上元三「私の大衆文学メモ(三) 直木賞委員のこと」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉20 第三次「大衆文芸」の人々」4-8. 「編集室より」8.
- 『12 捕物小説五人集』 1974年10月 ㉕.
- 武蔵野次郎「大衆文学の作家(三)」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉30 捕物帖の作家」4-8. 「編集室より」8.
- 『13 江戸川乱歩集』 1973年7月 ㉖.
- 和田芳恵「私の見た作家たち」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉3 江戸川乱歩の交友」4-8. 「編集室より」8.
- 『14 小栗虫太郎・木々高太郎集』 1974年7月 ㉗.
- 野村尚吾「〈作家のプロフィール〉1 井上靖さんの登竜の頃」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉24 ふたつの対位」4-8. 「編集室より」8.
- 『15 大下宇陀児・高木彬光集』 1974年2月 ㉘.
- 巖谷大四「〈文壇よもやま話〉3 作家と愛玩動物・植物」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉14 三人の推理作家」4-8. 「編集室より」8.
- 『16 横溝正史集』 1973年11月 ㉙.
- はじや
壇谷雄高「遠い記憶から(上)——『神州瀨瀨城』」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉

- 8 耽綺社とその人びと」4-8. 「編集室より」8.
- 『17 夢野久作・久生十蘭・橘外男集』 1974年8月 25.
野村尚吾「〈作家のプロフィール〉2 旅さきの石川達三さん」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉25 奇才と鬼才」4-8.
- 『18 尾崎士郎集』 1974年3月 15.
戸板康二「〈思い出の作家〉1 江戸川乱歩さん」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉15 「空想部落」の人々」4-8. 「編集室より」8.
- 『19 火野葦平集』 1974年9月 27.
野村尚吾「〈作家のプロフィール〉4 丹羽文雄さんの「顔」のこと」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉27 菊池寛と女秘書」4-8.
- 『20 舟橋聖一集』 1973年11月 9.
埴谷雄高「遠い記憶から (下) —— 『不連続殺人事件』」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉9 歴史の翳影」4-8. 「編集室より」8.
- 『21 丹羽文雄集』 1974年4月 18.
村上元三「私の大衆文学メモ (一)」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉18 「否」から「否へ」」4-8. 「編集室より」8.
- 『22 石川達三集』 1974年3月 16.
戸板康二「〈思い出の作家〉2 岩田豊雄さんのこと」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉16 毒婦・高橋お伝」4-8. 「編集室より」8.
- 『23 獅子文六集』 1974年8月 26.
野村尚吾「〈作家のプロフィール〉3 座談の名人——海音寺潮五郎と司馬遼太郎」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉26 ユーモア縁結び」4-8.
- 『24 石坂洋次郎集』 1973年10月 7.
中島河太郎「推理作家誕生ばなし」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉7 二つの挿話」4-8. 「編集室より」8.
- 『25 坂口安吾集』 1974年7月 23.
駒田信二「「大衆」という言葉について (三)」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉23 情話から実録へ」4-8.
- 『26 井上靖集』 1973年7月 2.
井伏鱒二「風貌姿勢——海音寺潮五郎・その他の徴員」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学

逸史) 2 「サンデー毎日」の周辺」4-8. 「編集室より」8.

『27 松本清張集』 1973 年 9 月 ⑥.

中島河太郎「推理小説ルネサンス」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉6 平山蘆江の
周辺」4-8. 「編集室より」8.

『28 柴田錬三郎集』 1974 年 1 月 ⑫.

^{いわや}巖谷大四「〈文壇よもやま話〉1 原稿用紙と筆ぐせ」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉
12 〆飯と汁、の関係」4-8. 「編集室より」8.

『29 水上勉集』 1973 年 12 月 ⑩.

小松伸六「雑談的印象記」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉10 食通三態」4-8. 「編集
室より」8.

『30 司馬遼太郎集』 1974 年 4 月 ⑰.

戸板康二「〈思い出の作家〉3 長谷川伸さんのこと」1-4. 尾崎秀樹「〈大衆文学逸史〉
17 坂本竜馬像の変遷」4-8. 「編集室より」8.

以下次号掲載